

# 将来の人口動態・入院患者動態等



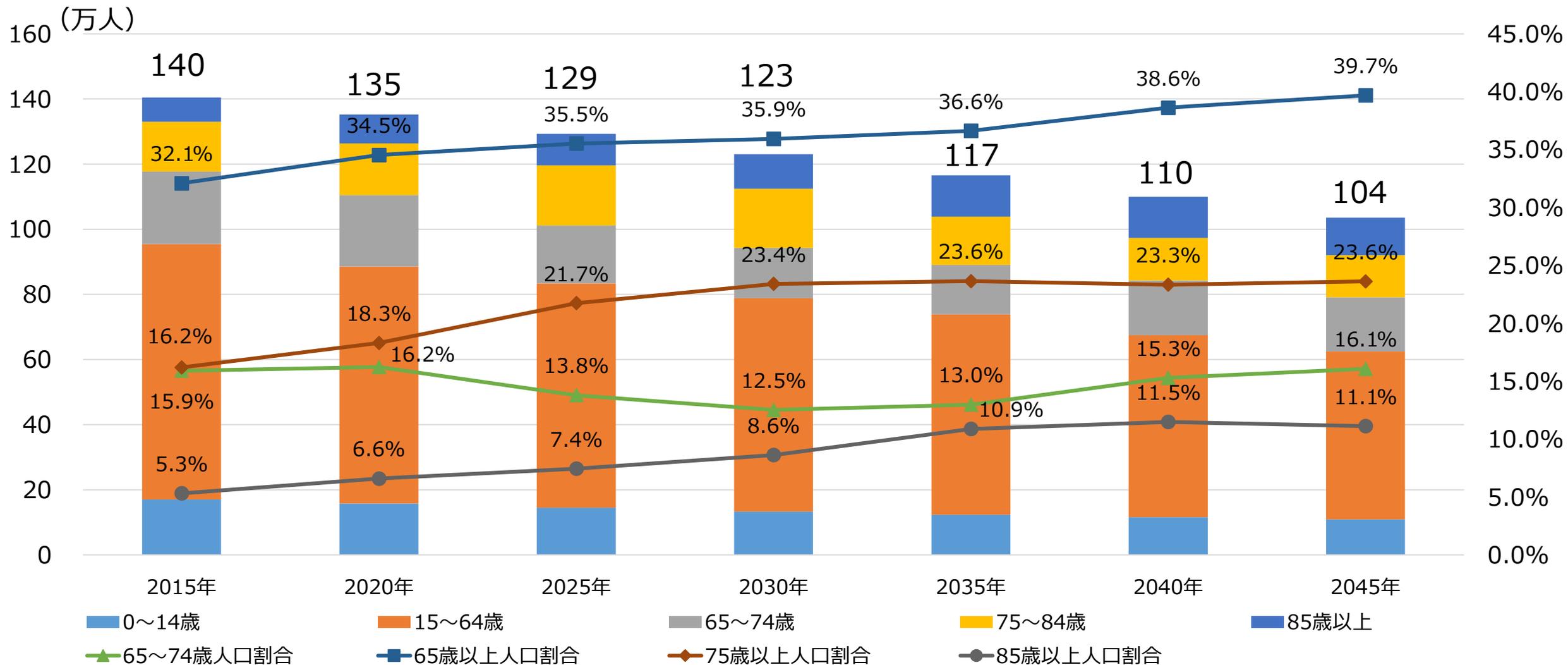
Ver.1.2

山口県健康福祉部医療政策課

# 山口県の将来推計人口

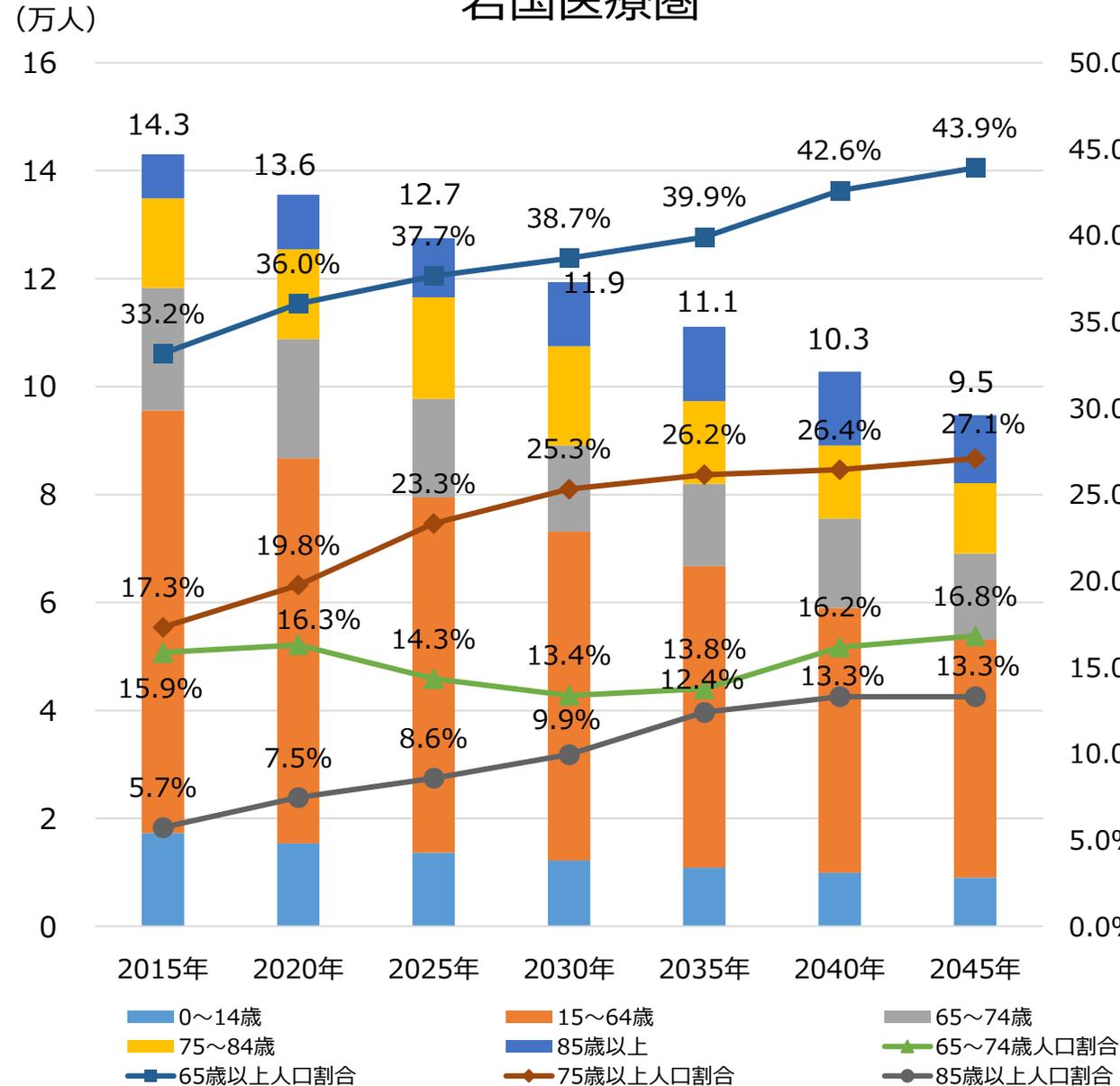
○既に「0～14歳」、「15～64歳」は減少し、「65～74歳」は今後減少する。

○後期高齢者「75歳以上」の割合は増加し、2035年にピークを迎え、「85歳以上」の割合は2040年にピークを迎える。

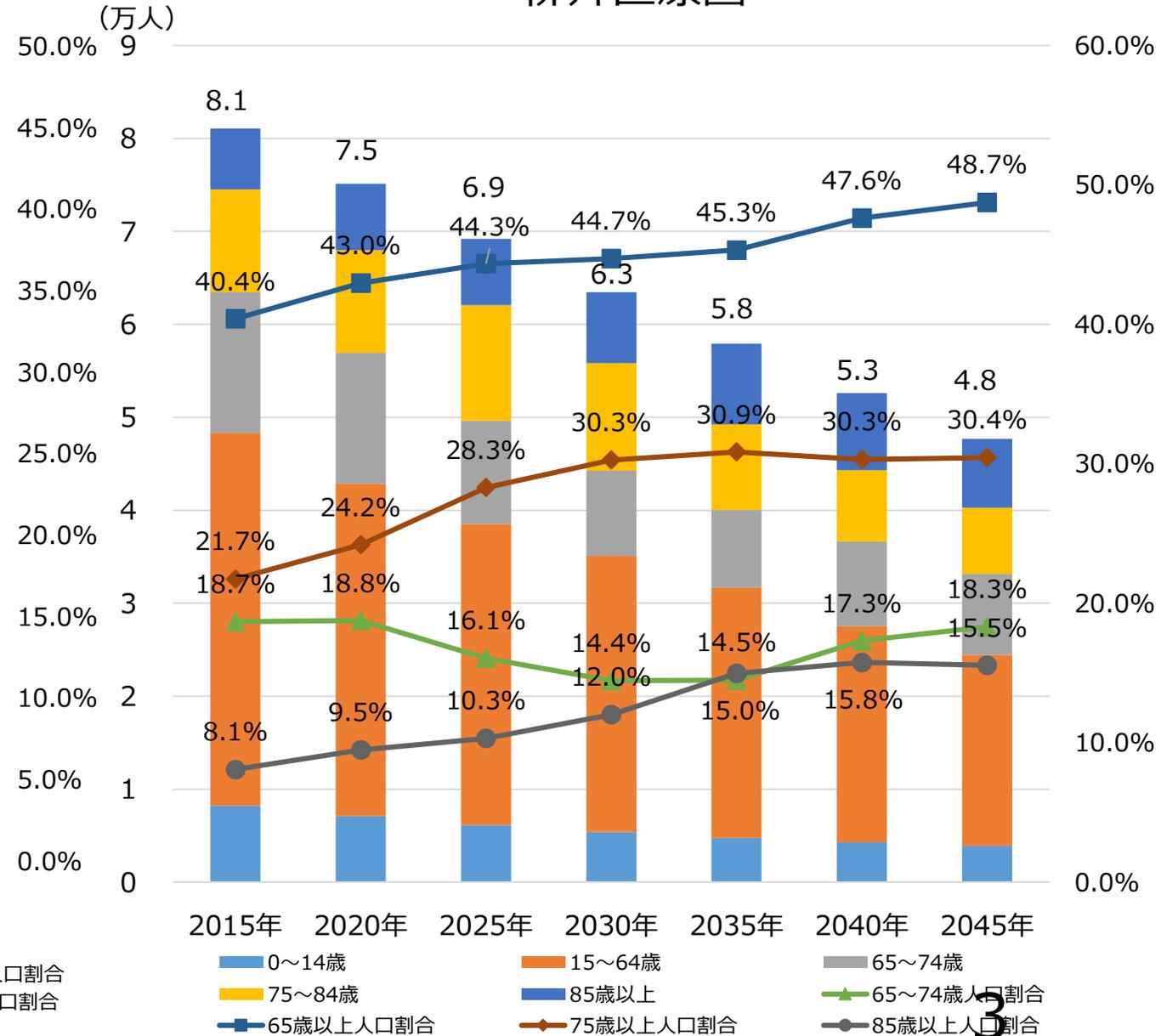


# 【医療圏別】将来推計人口

## 岩国医療圏

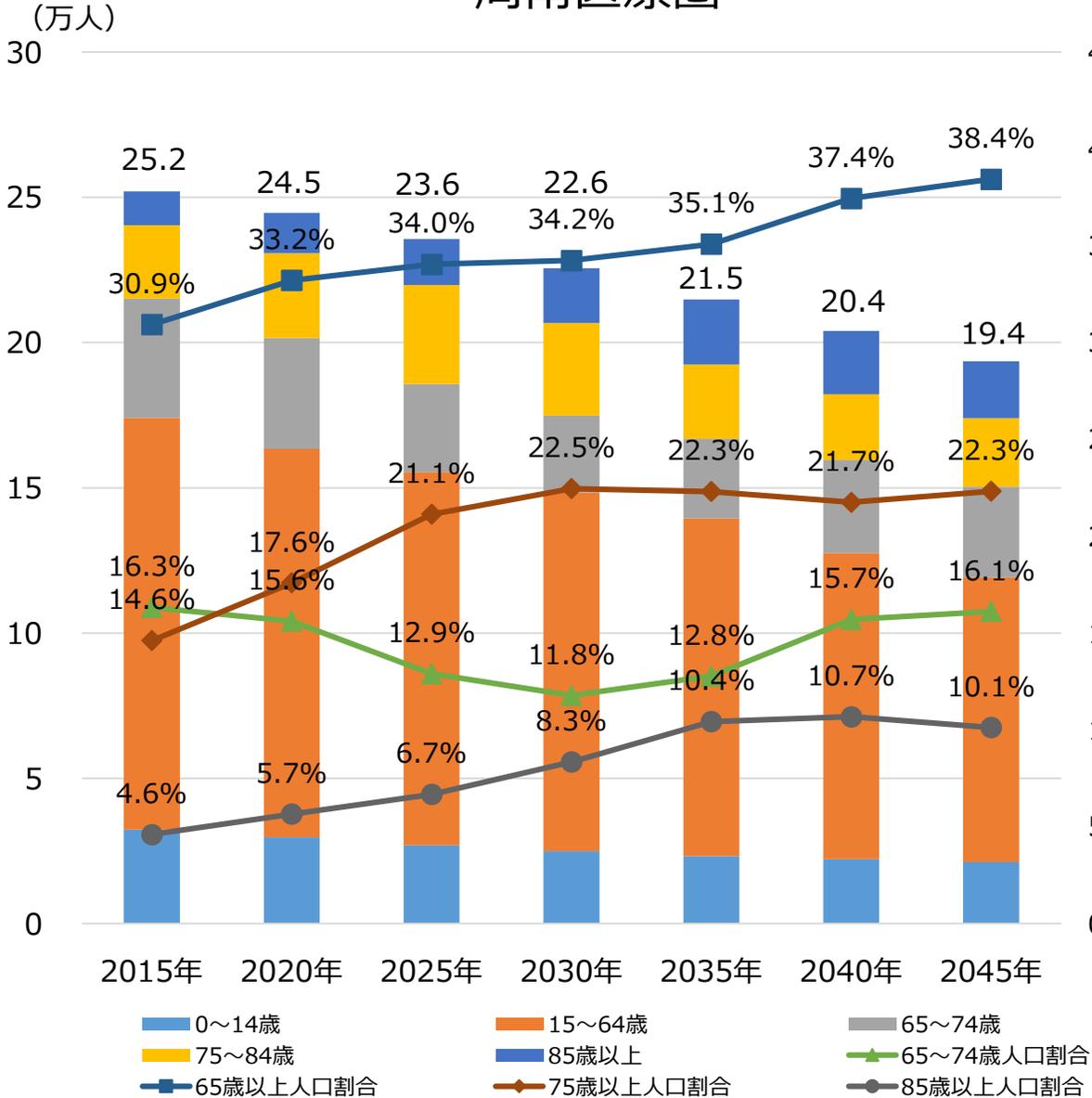


## 柳井医療圏

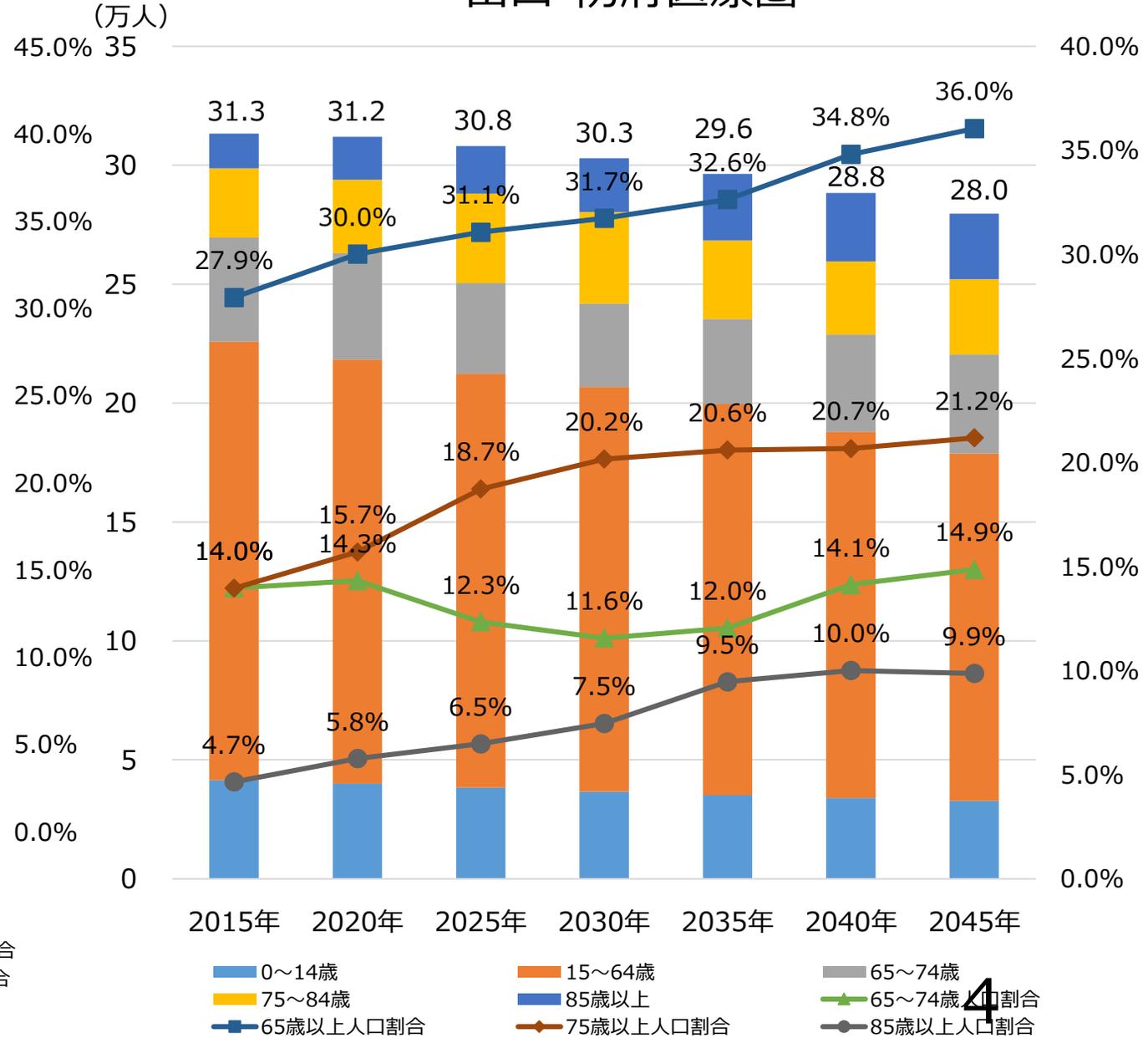


# 【医療圏別】将来推計人口

## 周南医療圏



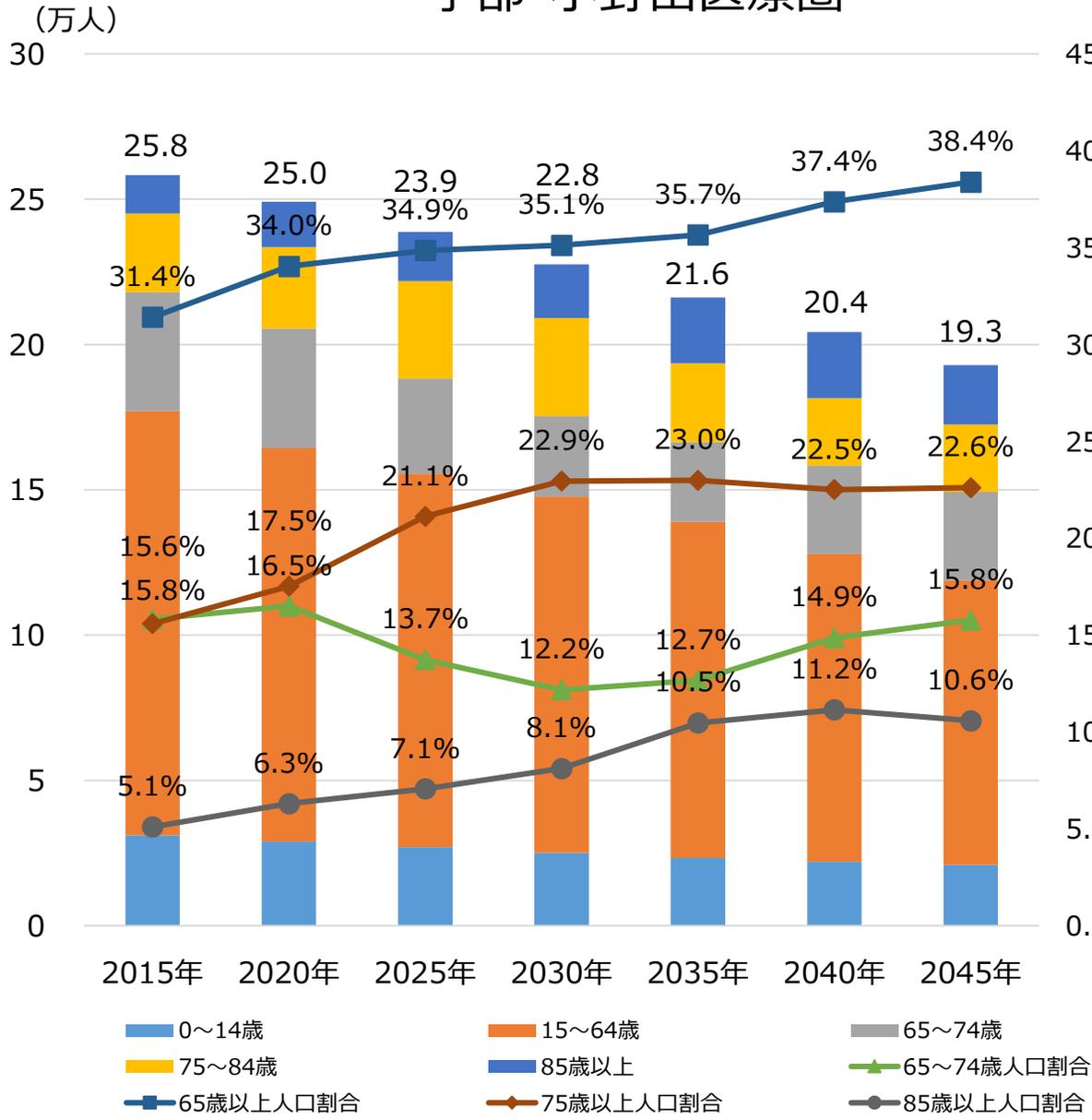
## 山口・防府医療圏



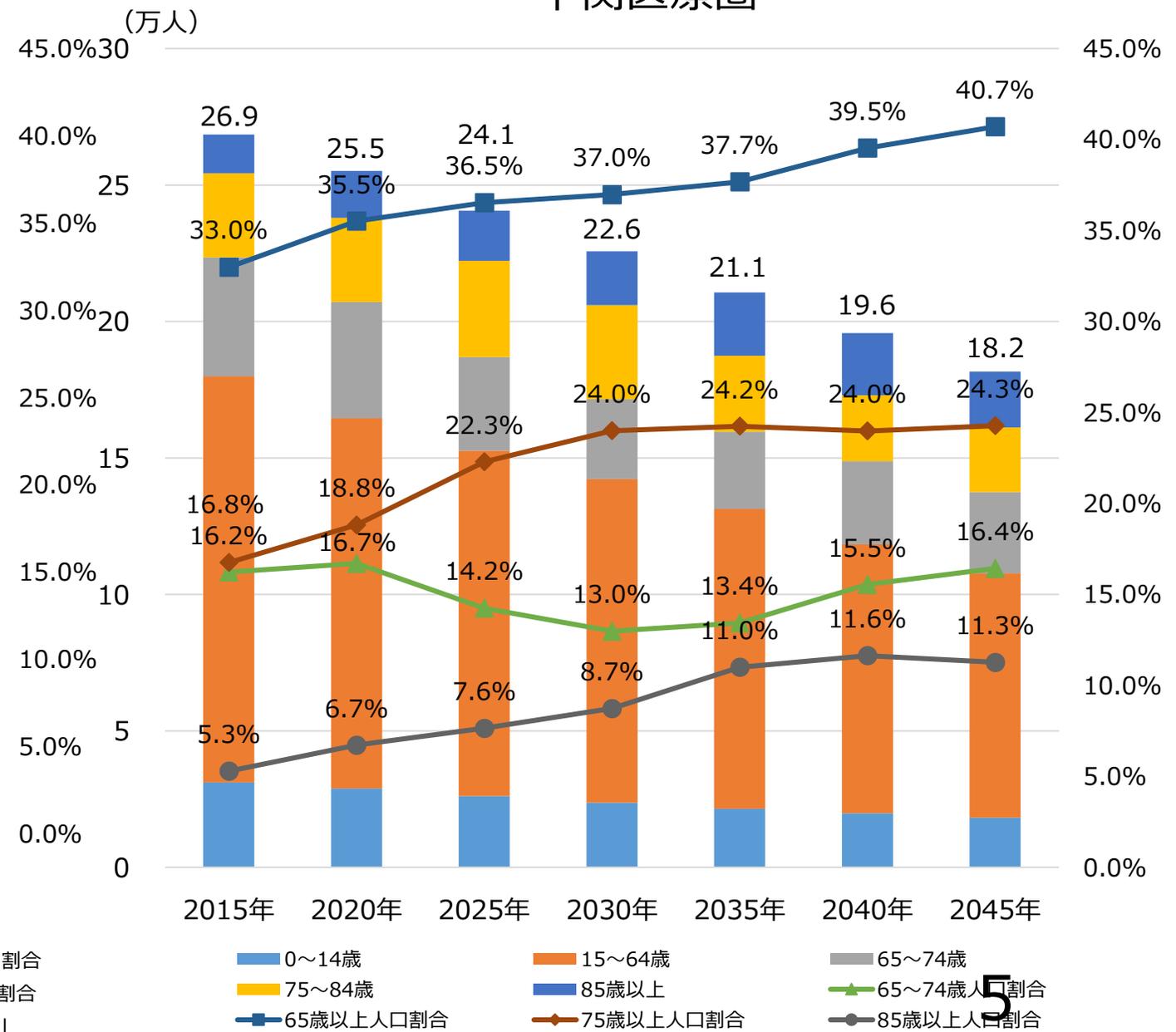
出所：社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

# 【医療圏別】将来推計人口

## 宇部・小野田医療圏



## 下関医療圏

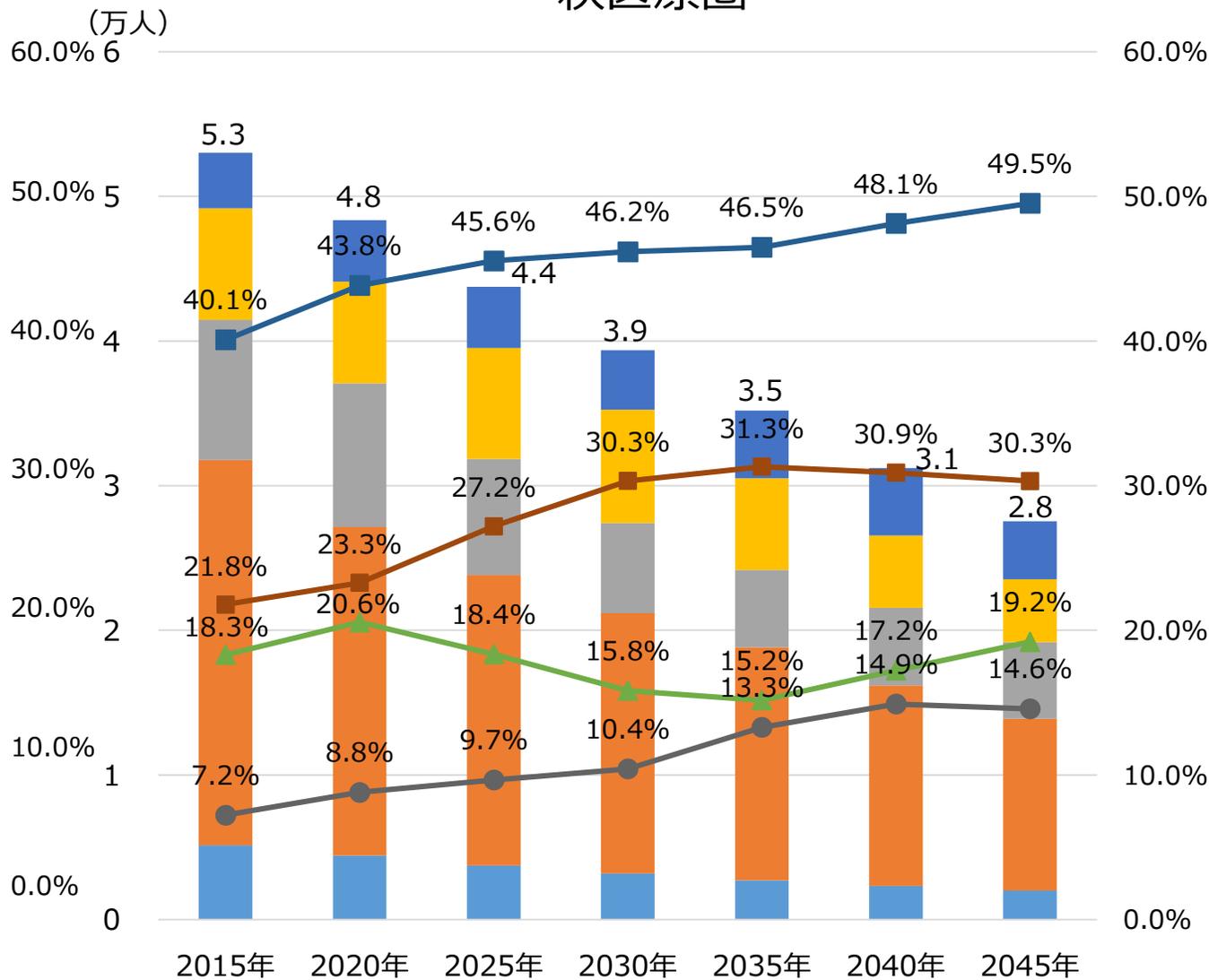
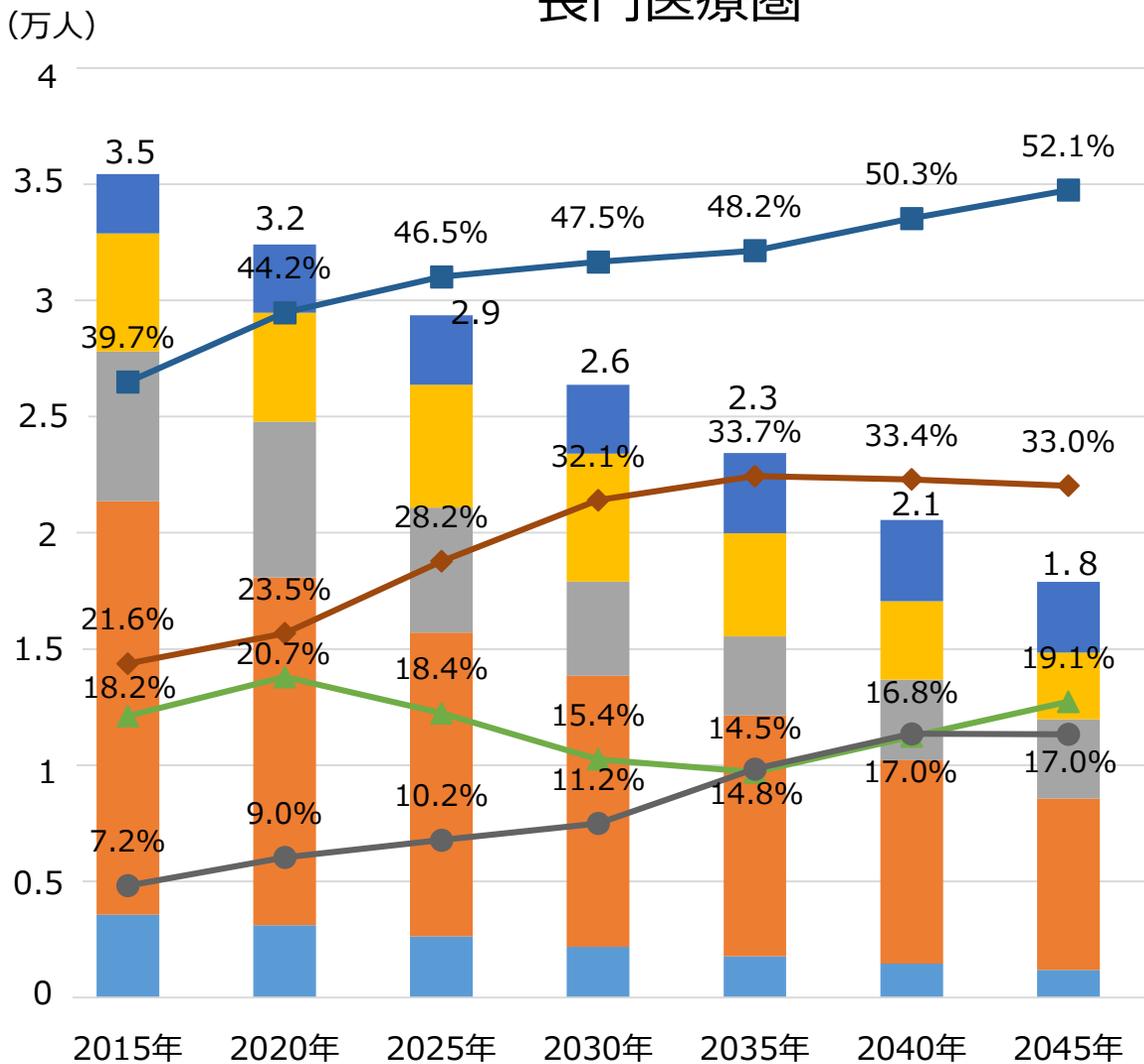


出所：社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

# 【医療圏別】将来推計人口

## 長門医療圏

## 萩医療圏



- 0~14歳
- 15~64歳
- 65~74歳
- 75~84歳
- 85歳以上
- 65歳以上人口割合
- 75歳以上人口割合
- 85歳以上人口割合

- 0~14歳
- 15~64歳
- 65~74歳
- 75~84歳
- 85歳以上
- 65歳以上人口割合
- 75歳以上人口割合
- 85歳以上人口割合

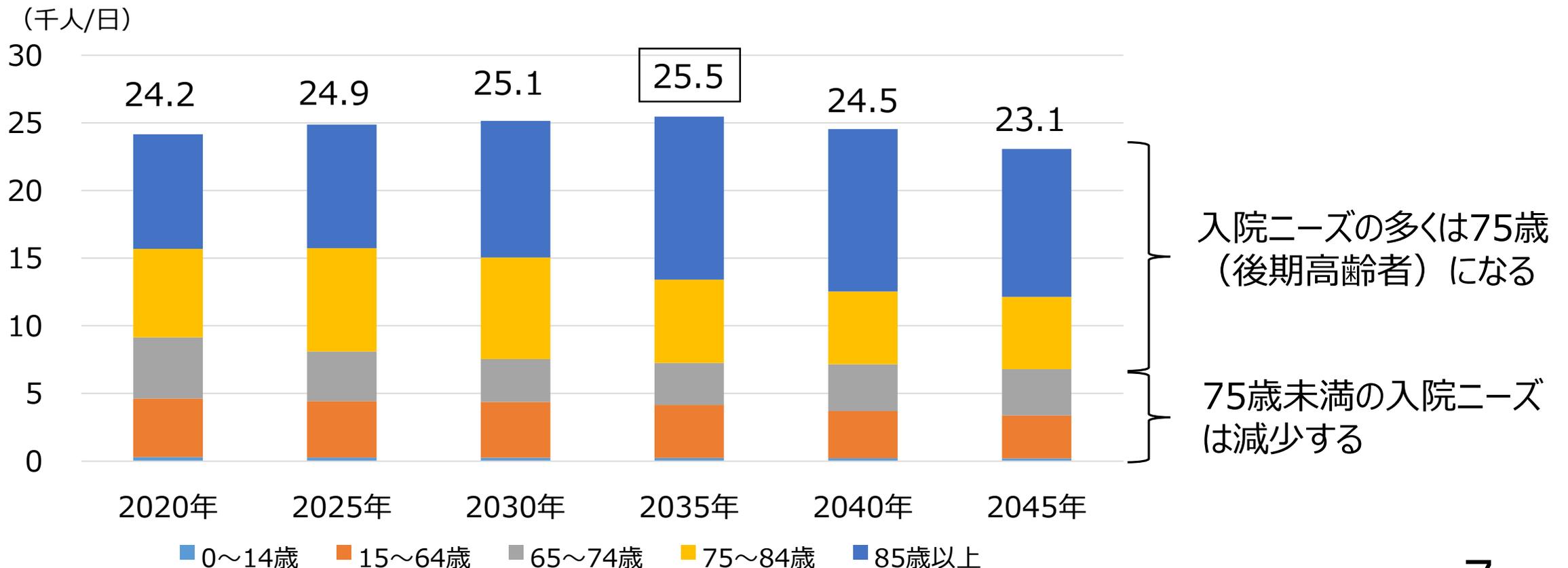
出所：社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

# 山口県の年齢階級別の推計入院患者数

○県全体の入院患者数は2035年にピークを迎えることが見込まれる。既に2020年には65歳以上が占める割合は8割を超えており、その後も継続的に上昇することが見込まれる。

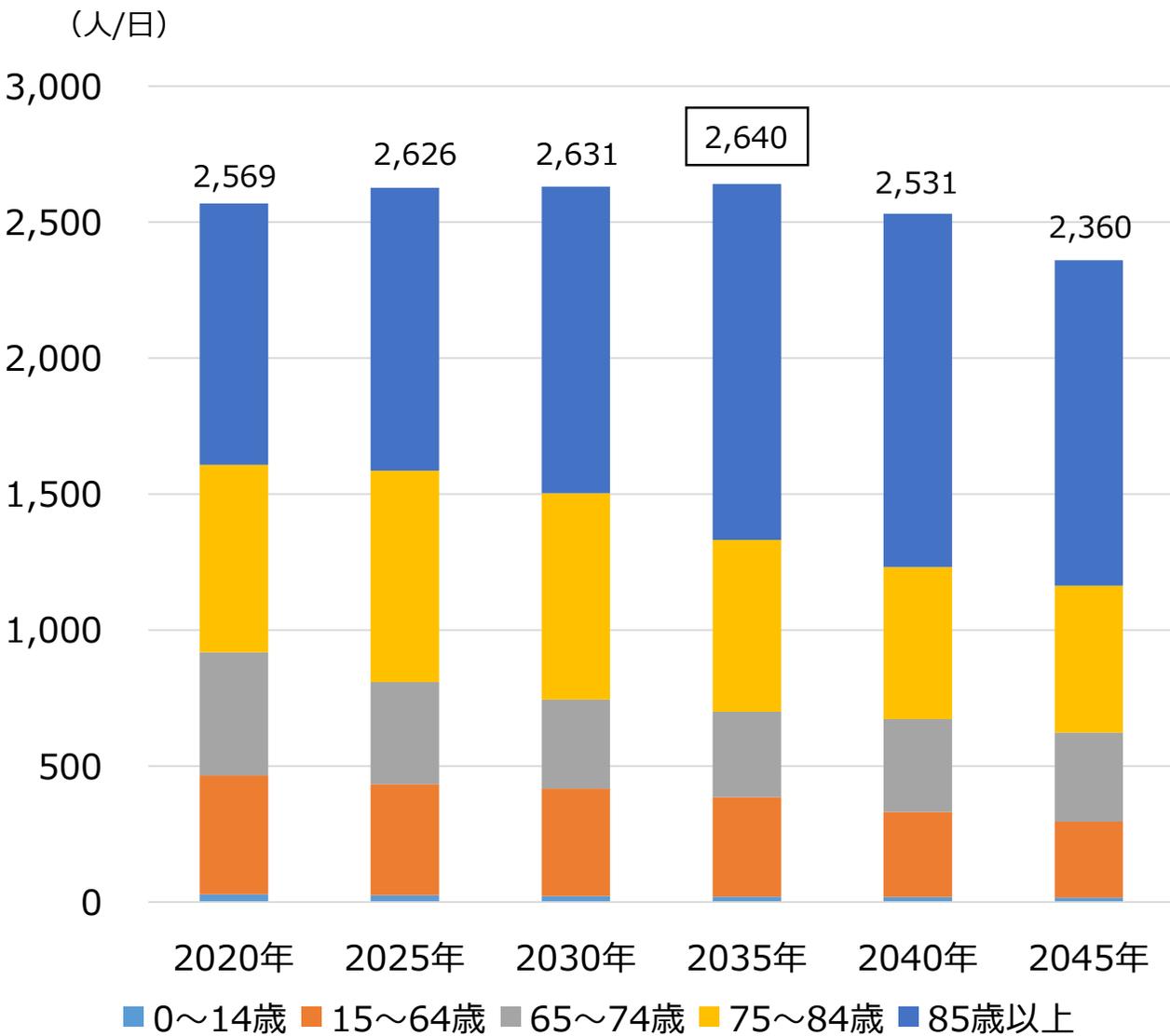
○75歳以上が占める割合も継続的に上昇し、2030年には7割を超えることが見込まれる。85歳以上が占める割合も2040年には約5割となるが見込まれる。

○二次医療圏によって入院患者数が最大となる年は様々であるが、既に2020年までに柳井、長門、萩が、2025年に下関が、2035年に岩国、周南、宇部・小野田が、2040年に山口・防府がピークを迎えることが見込まれる。

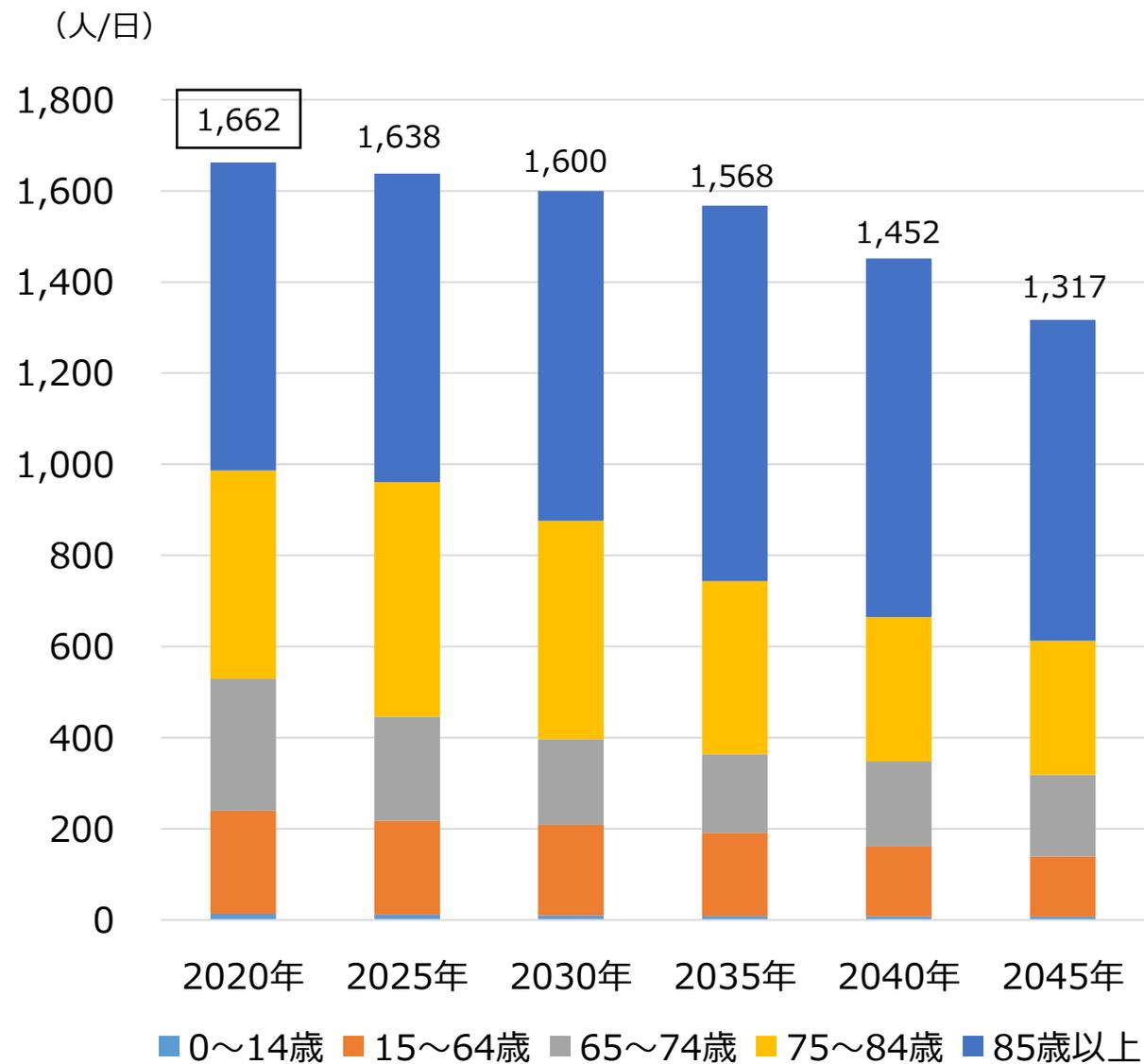


# 【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

## 岩国医療圏

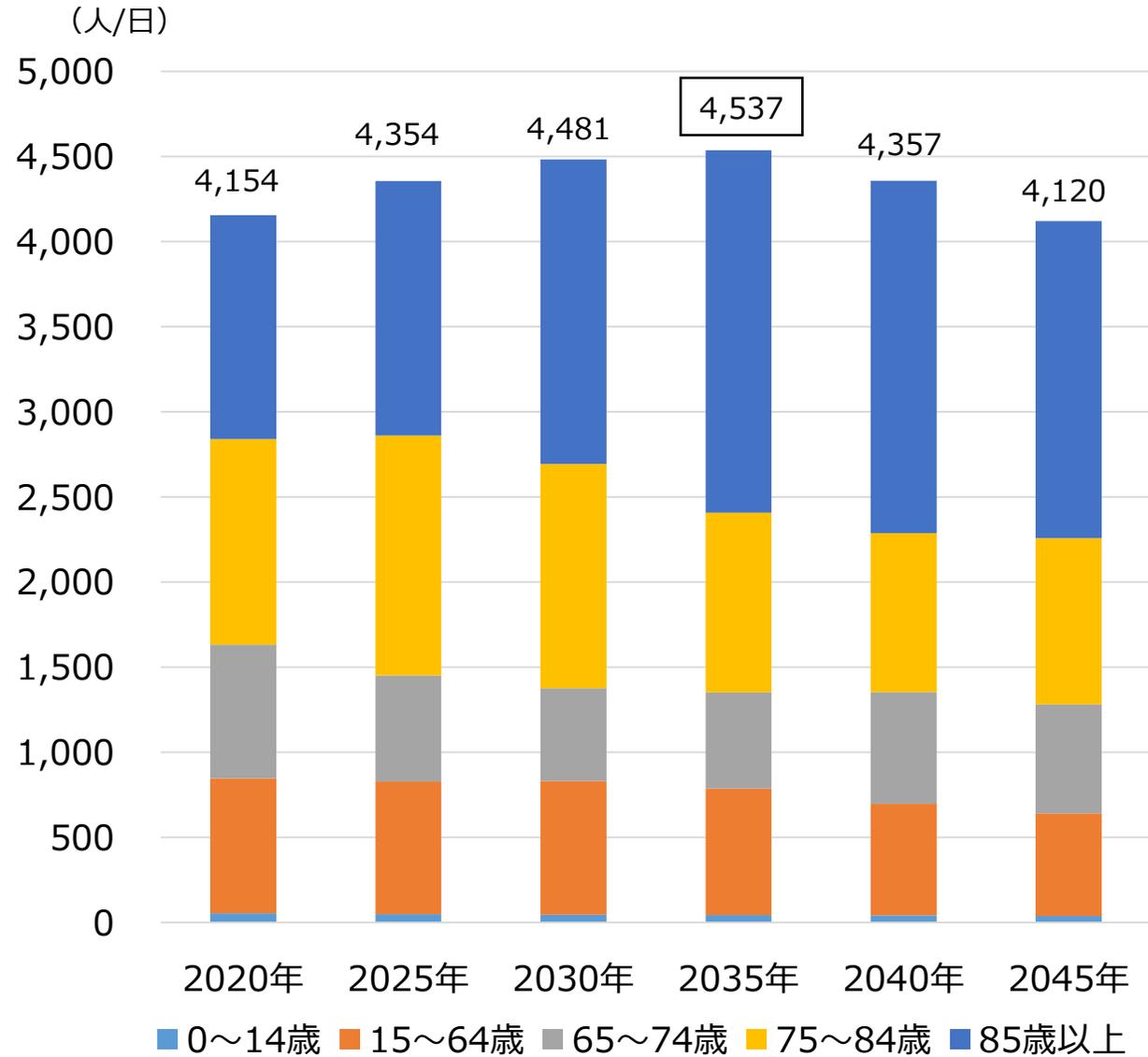


## 柳井医療圏

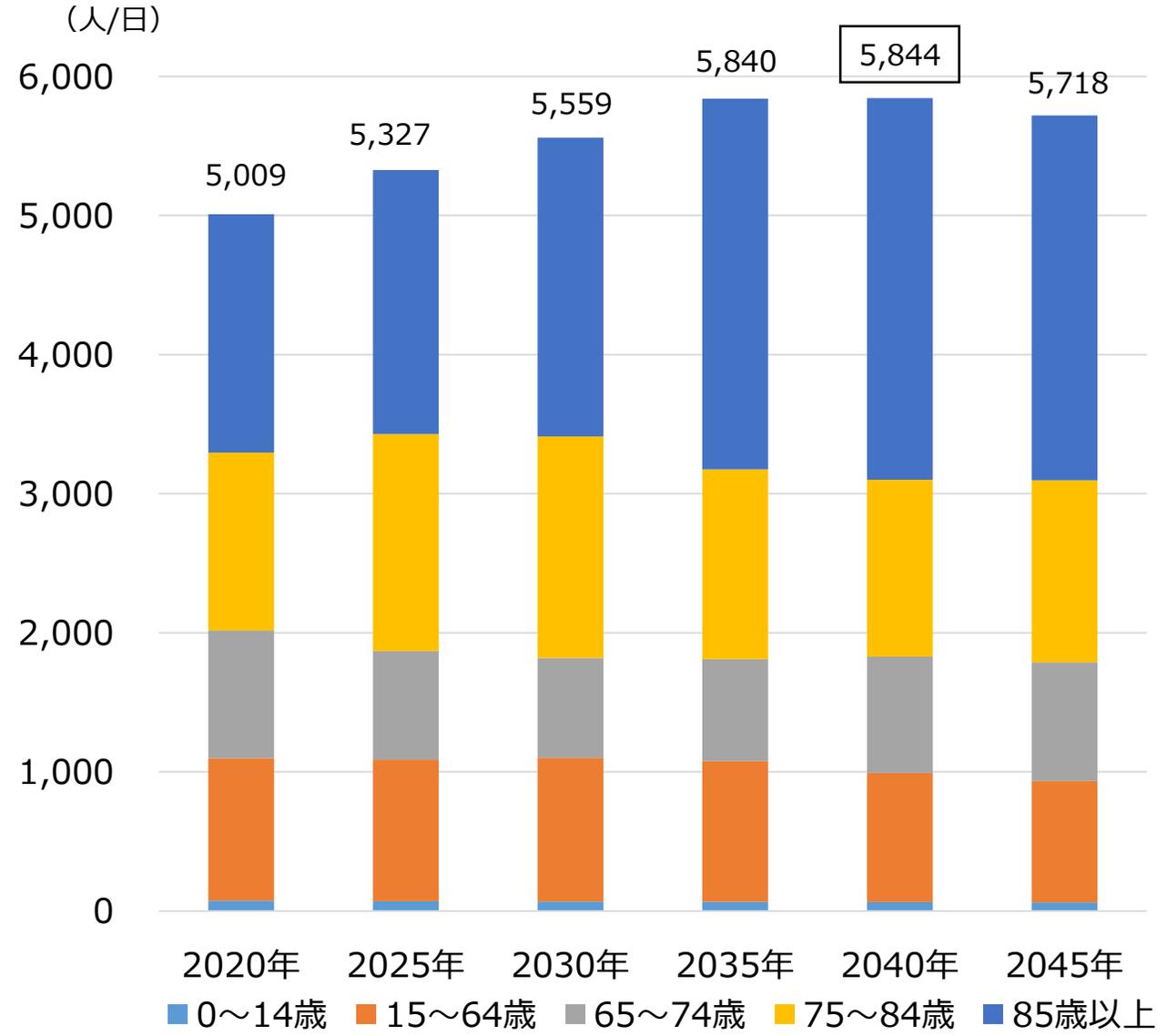


# 【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

## 周南医療圏

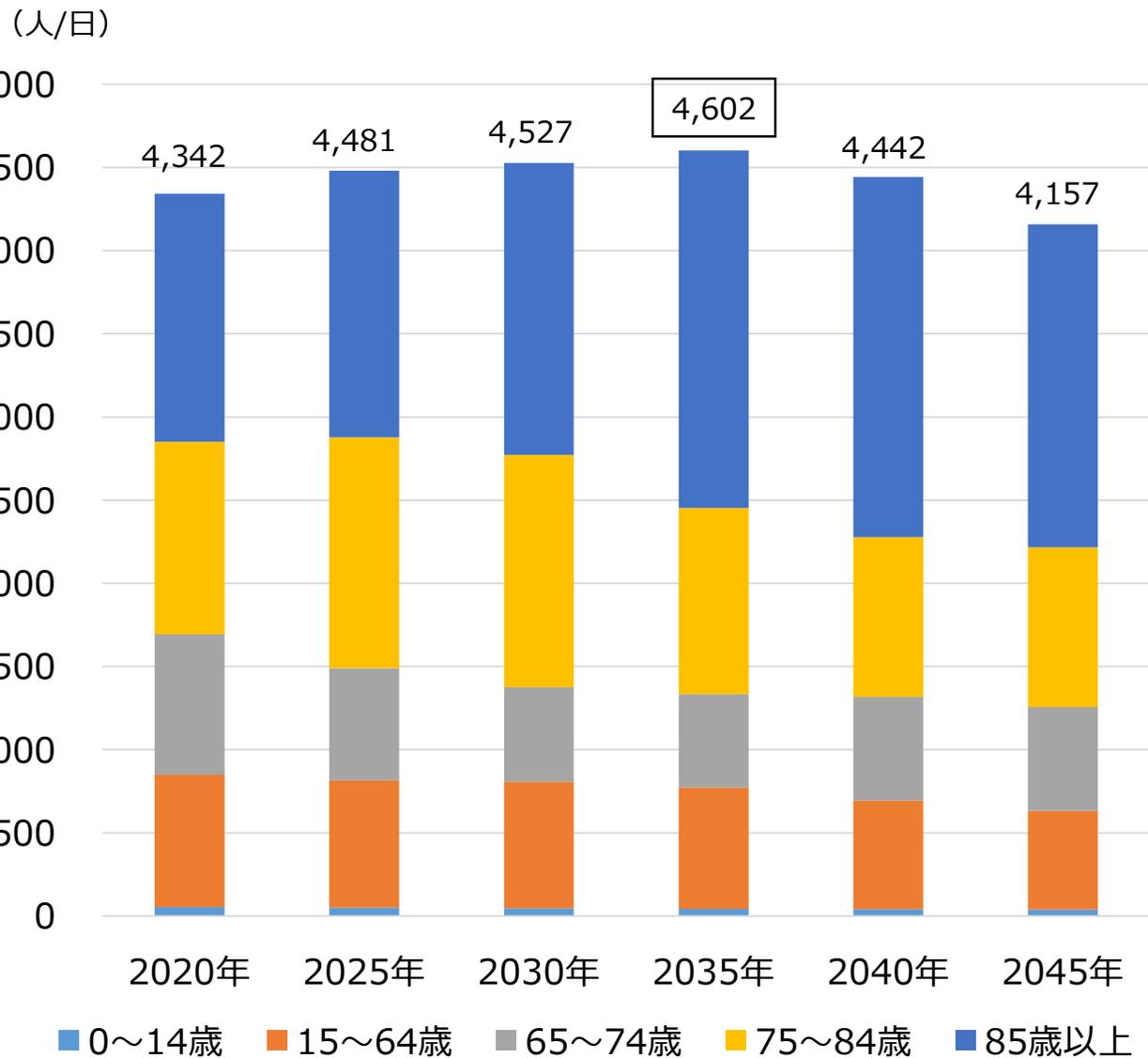


## 山口・防府医療圏

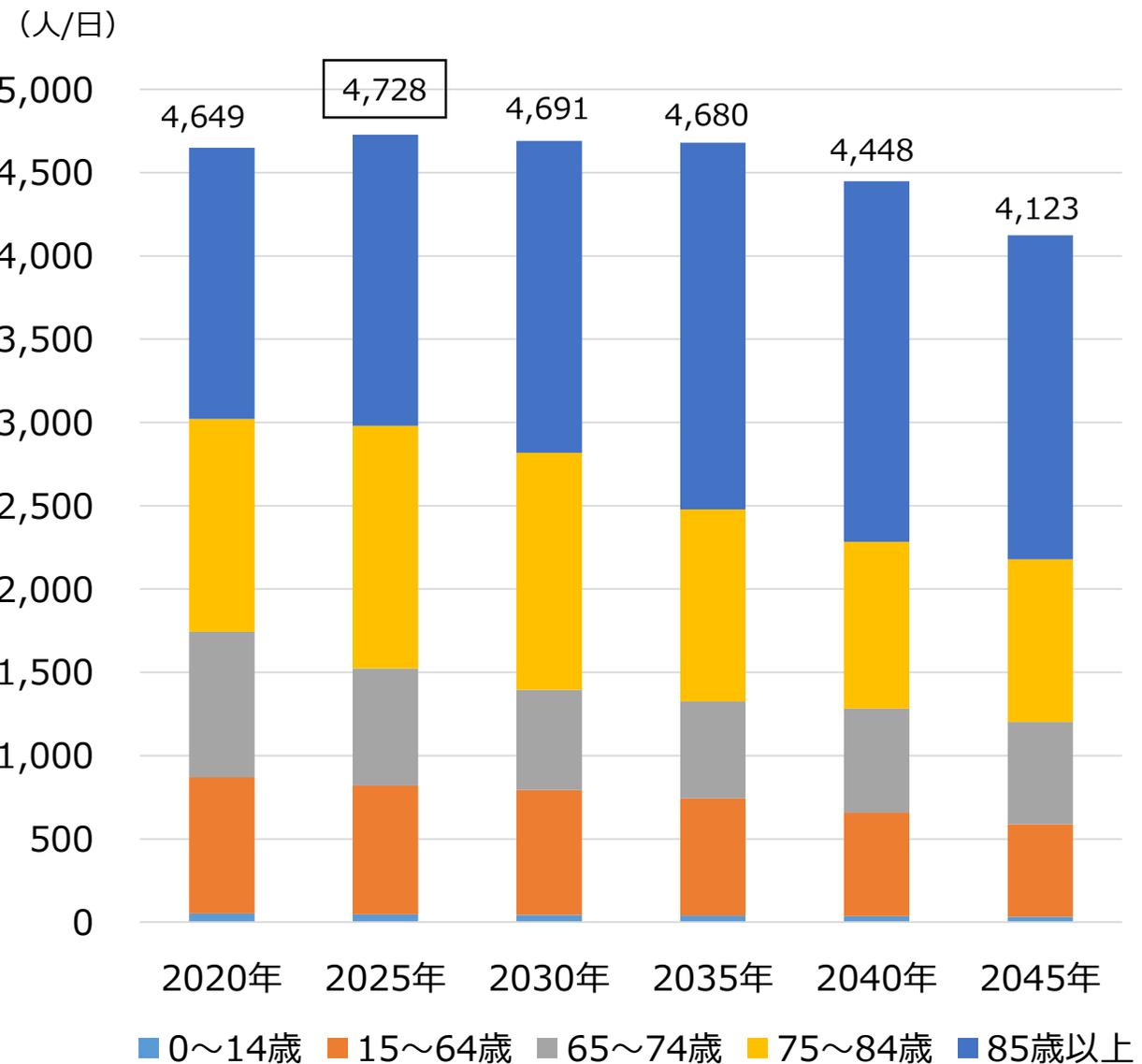


# 【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

## 宇部・小野田医療圏

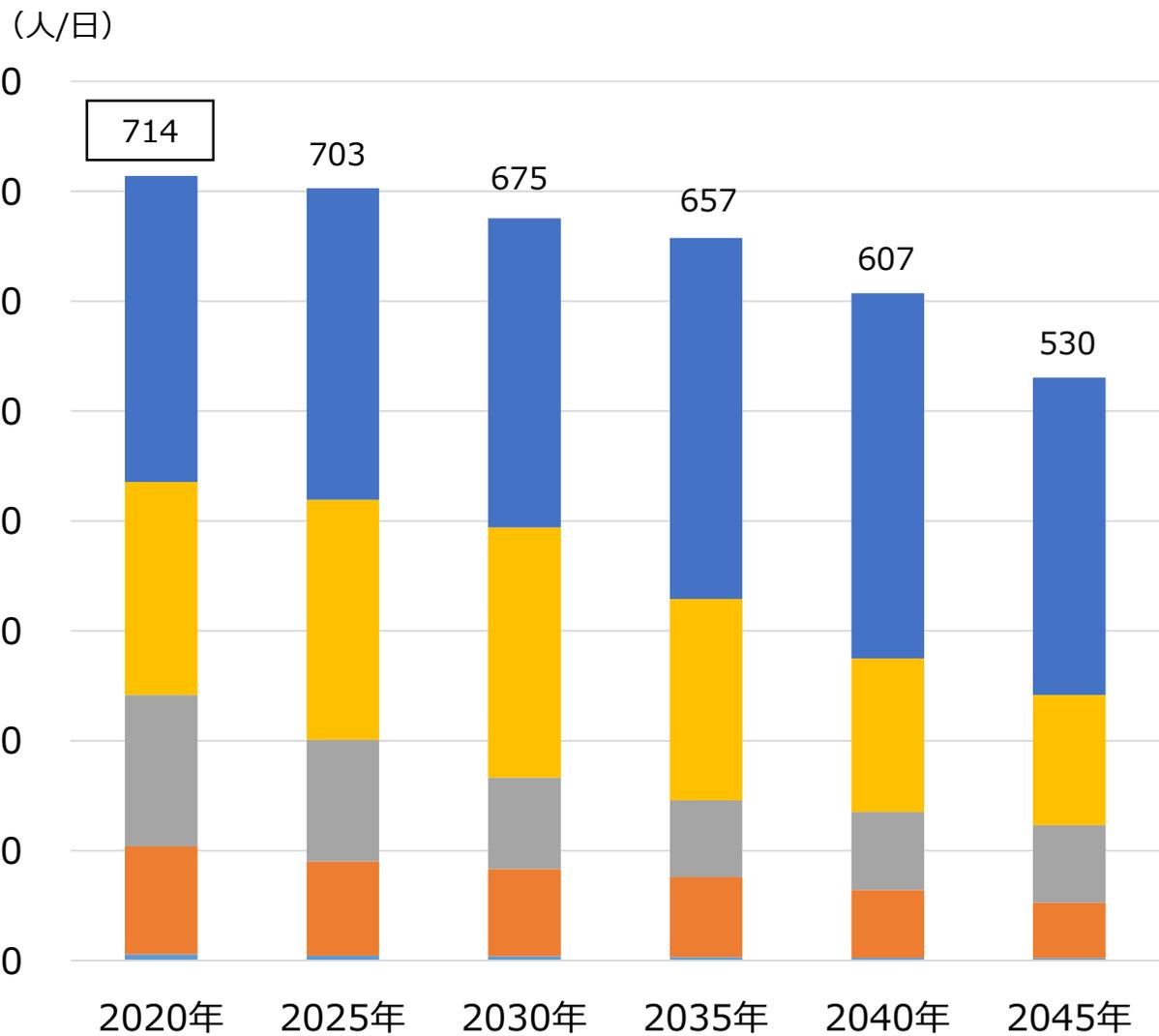


## 下関医療圏

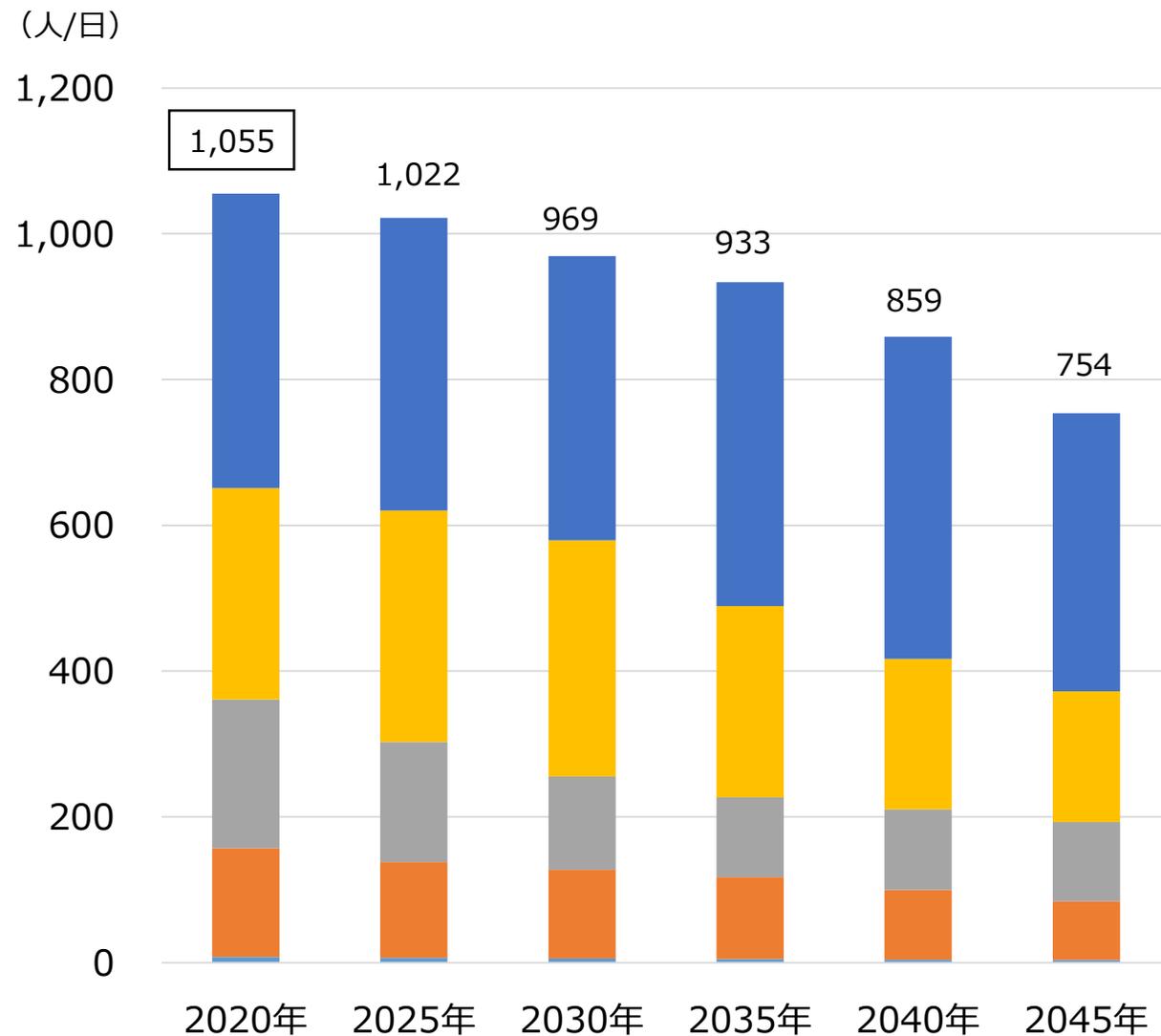


# 【医療圏別】年齢階級別の推計入院患者数

## 長門医療圏



## 萩医療圏



■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65~74歳 ■ 75~84歳 ■ 85歳以上

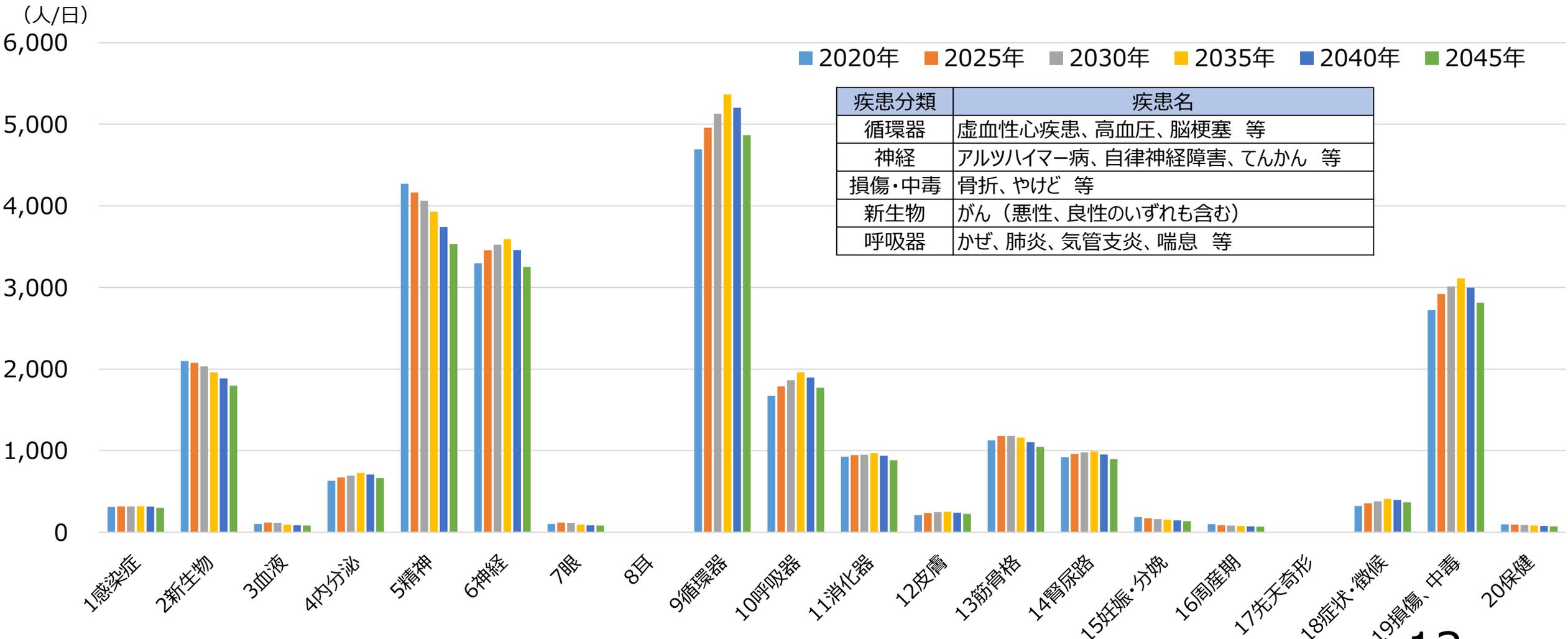
■ 0~14歳 ■ 15~64歳 ■ 65~74歳 ■ 75~84歳 ■ 85歳以上

出所：平成29年患者調査（厚生労働省）下巻表番号10、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

# 山口県の傷病別入院患者数推計

○後期高齢者の増加に伴い、「循環器」、「神経」、「損傷、中毒」、「呼吸器」などの入院患者数は、2035年をピークに増え、その後減少する。

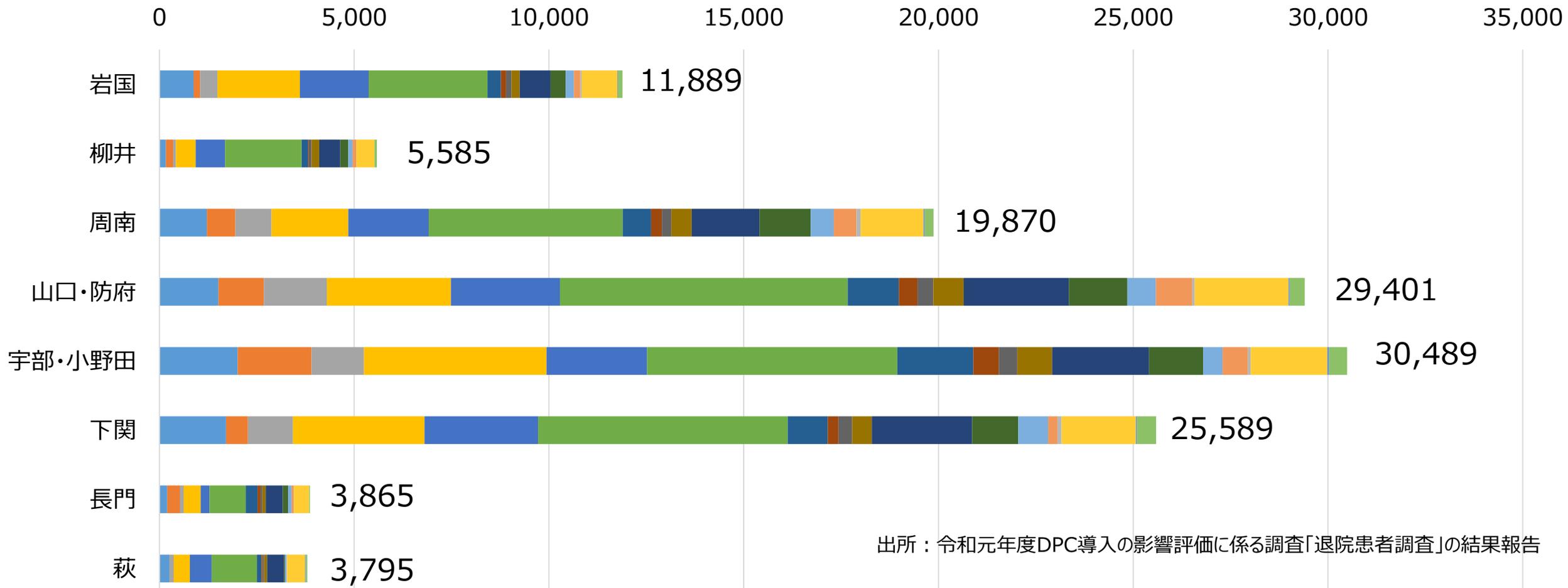
○専門的な手術を要する「新生物」（がん）の入院患者数は、既にピークに達しており、一貫して減少する。



出所：平成29年患者調査（厚生労働省） 閲覧表番号117-2、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

# 二次医療圏別 D P C 退院患者数

○全県的な高度・専門医療を行う医療機関がある宇部・小野田、山口・防府は、他圏域から患者が流入し、急性期患者が多い。  
 ○脳血管疾患や呼吸器疾患などに対応する急性期機能が不足している柳井、長門、萩は、他圏域に患者が流出している。

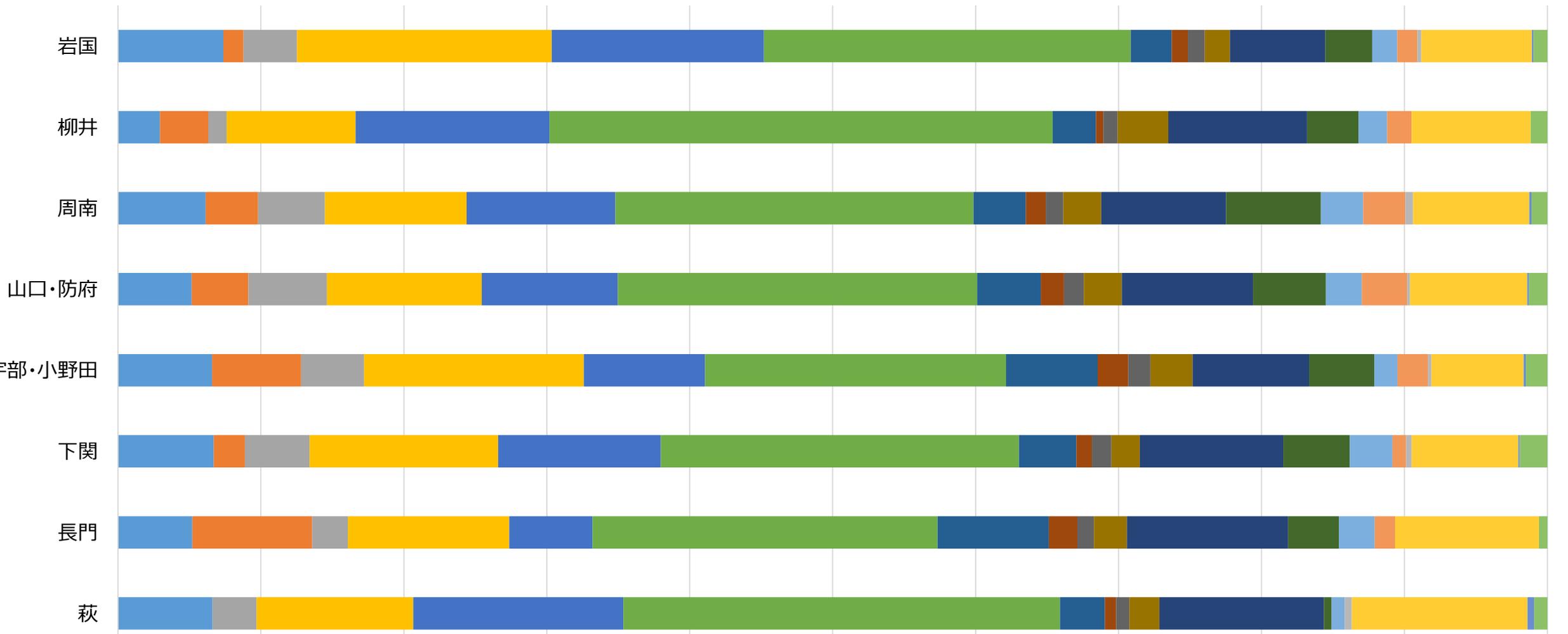


出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

# 二次医療圏別 D P C 退院患者 主要診断群構成比

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- MDC01 神経系疾患
- MDC02 眼科系疾患
- MDC03 耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04 呼吸器系疾患
- MDC05 循環器系疾患
- MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07 筋骨格系疾患
- MDC08 皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09 乳房の疾患
- MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14 新生児疾患、先天性奇形
- MDC15 小児疾患
- MDC16 外傷・熱傷・中毒
- MDC17 精神疾患
- MDC18 その他

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

# 二次医療圏別 D P C退院患者数の主要診断群流出入

MDC	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩
01	15	-290	-120	-160	524	-159	-91	-170
02	-158	-80	-56	-150	451	-258	88	-165
03	-24	-193	26	17	173	-131	-70	-97
04	328	-472	-483	-636	1,455	-162	-119	-388
05	138	-331	-176	109	132	-231	-202	-164
06	-372	-354	-421	411	469	-286	-145	-613
07	-277	-159	-237	-72	455	-341	-47	-276
08	-50	-86	-59	-72	156	-96	-15	-70
09	-69	-23	-77	-19	-16	-14	-17	-47
10	-132	-51	-78	-88	77	-83	-21	-66
11	-228	-138	-72	31	232	-30	-40	-241
12	-355	-169	-117	-190	45	-252	-106	-175
13	-211	-85	-51	-42	-6	-49	-10	-92
14	-95	-68	86	55	95	-195	-26	-61
15	-7	-10	-7	-12	26	-9	-10	-2
16	-163	-101	-186	24	-24	-208	-17	-162
17	-5	-15	-23	-43	-29	-23	-	-8
18	-75	-42	-46	-74	13	-42	-35	15 -39

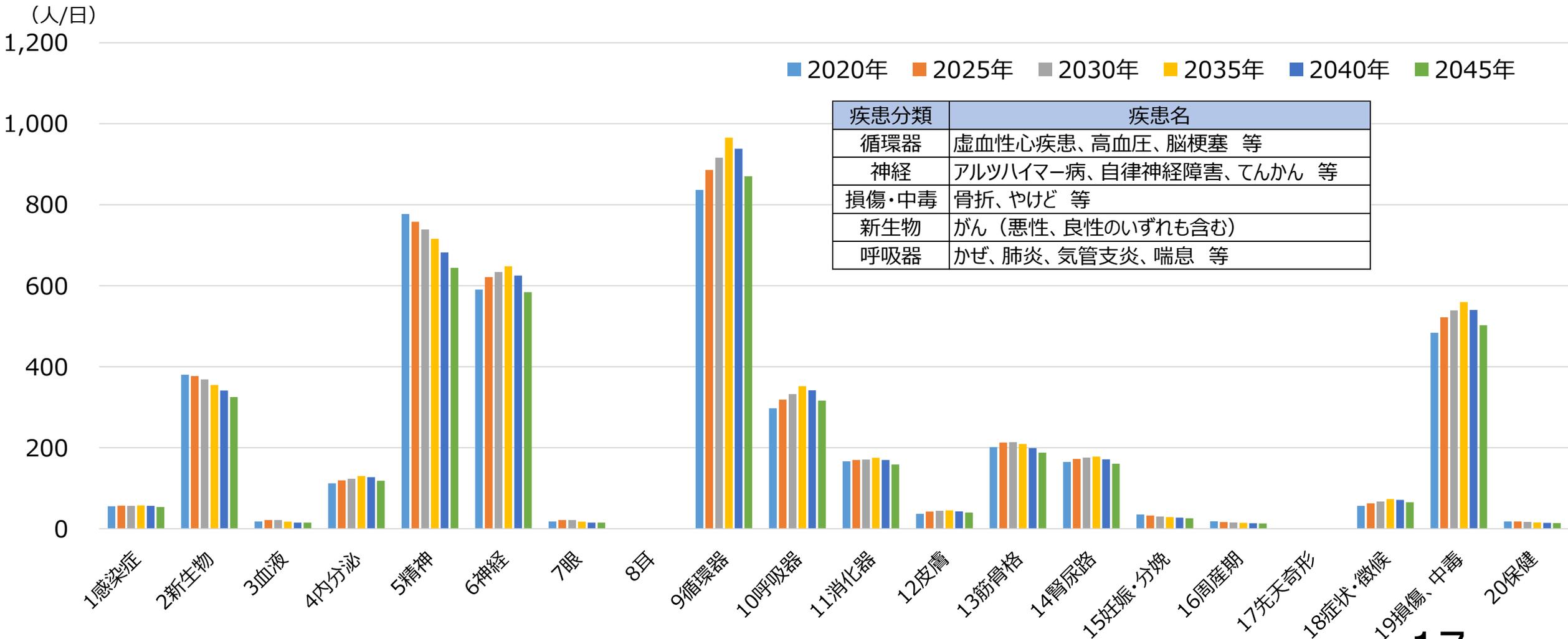
## 二次医療圏別 D P C退院患者数の主要診断群流出入 割合

MDC	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩
01	1.7%	-63.9%	-9.0%	-9.5%	35.3%	-8.5%	-31.2%	-40.4%
02	-48.8%	-29.7%	-7.1%	-11.4%	31.2%	-31.6%	37.3%	-100.0%
03	-5.1%	-72.8%	2.9%	1.1%	14.8%	-10.2%	-41.9%	-45.3%
04	18.3%	-48.4%	-19.7%	-16.6%	45.0%	-4.6%	-21.4%	-48.3%
05	8.5%	-30.4%	-7.9%	4.0%	5.4%	-7.3%	-47.3%	-22.7%
06	-10.9%	-15.3%	-7.8%	5.9%	7.9%	-4.3%	-13.5%	-34.6%
07	-44.9%	-48.5%	-24.6%	-5.2%	30.4%	-24.9%	-13.5%	-69.9%
08	-27.0%	-74.8%	-17.5%	-13.1%	31.2%	-25.5%	-16.3%	-70.0%
09	-33.0%	-29.1%	-24.1%	-4.5%	-3.3%	-3.9%	-27.4%	-57.3%
10	-38.6%	-20.5%	-12.9%	-10.1%	9.4%	-14.0%	-19.1%	-45.2%
11	-22.3%	-20.3%	-4.0%	1.2%	10.3%	-1.2%	-8.4%	-35.5%
12	-47.7%	-45.7%	-8.2%	-11.2%	3.3%	-17.5%	-43.6%	-89.7%
13	-50.4%	-43.1%	-8.0%	-5.4%	-1.2%	-6.0%	-9.3%	-72.4%
14	-36.3%	-41.5%	17.1%	6.3%	17.0%	-44.7%	-32.1%	-100.0%
15	-17.5%	-100.0%	-6.1%	-17.1%	55.3%	-8.0%	-100.0%	-9.5%
16	-15.0%	-17.8%	-10.3%	1.0%	-1.2%	-9.8%	-4.2%	-25.8%
17	-29.4%	-100.0%	-43.4%	-56.6%	-36.3%	-48.9%	-	-30.8%
18	-39.3%	-39.3%	-17.2%	-16.2%	2.9%	-7.8%	-60.3%	16 -52.7%

# 宇部・小野田医療圏の傷病別入院患者数推計

○後期高齢者の増加に伴い、「循環器」、「神経」、「損傷、中毒」、「呼吸器」などの入院患者数は、2035年をピークに増え、その後減少する。

○専門的な手術を要する「新生物」（がん）の入院患者数は、既にピークに達しており、一貫して減少する。



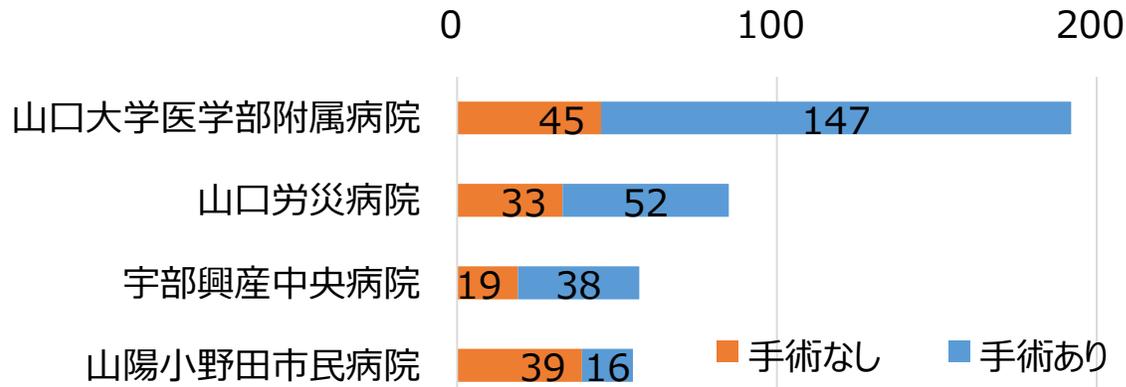
# 【宇部・小野田医療圏】 悪性新生物（がん）

○入院患者数は2025年から減少し、2045年には2020年の87.0%に減少すると推計される。

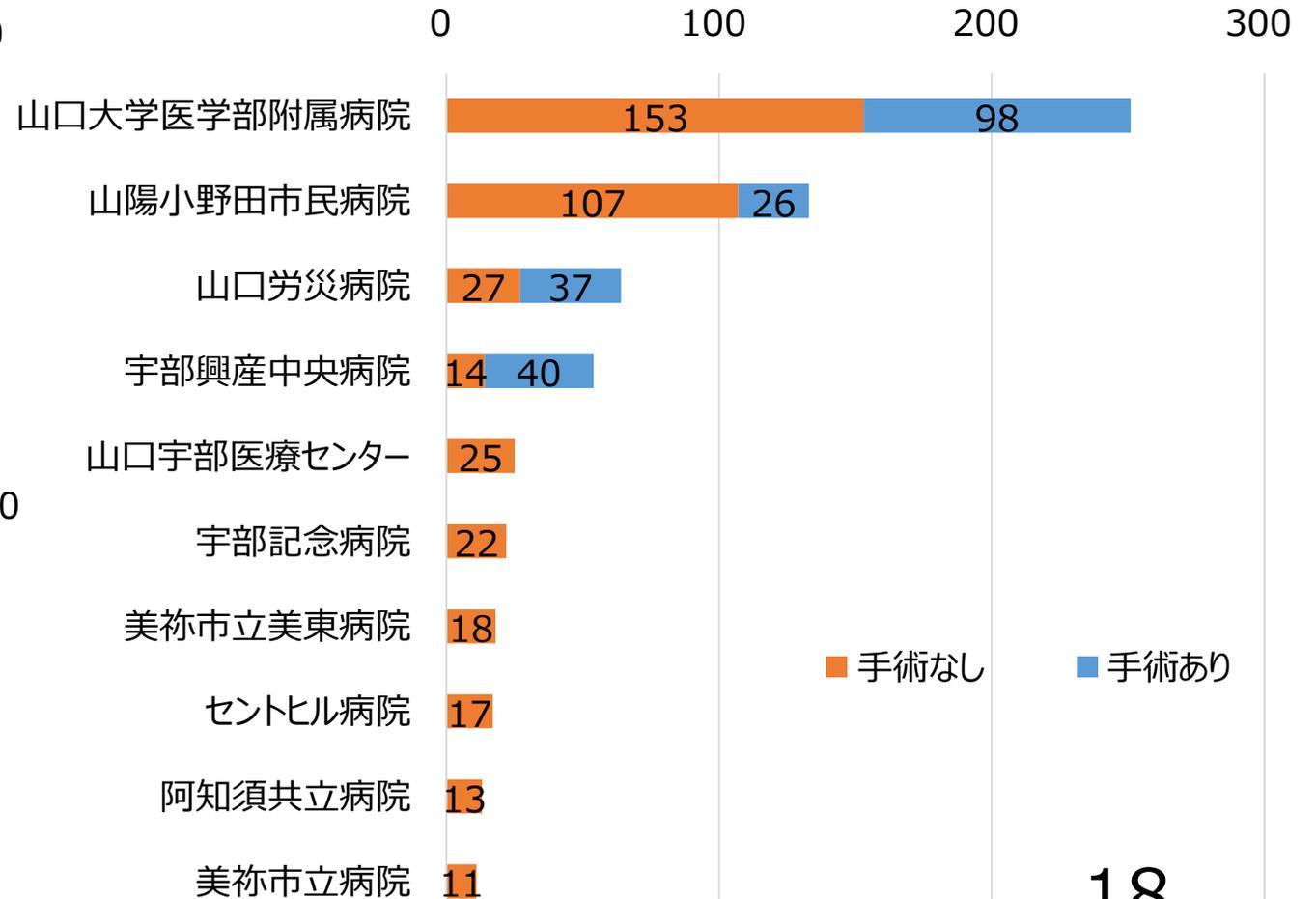
## 現 状

### ■ がんの診療実績（令和元年度DPC調査）

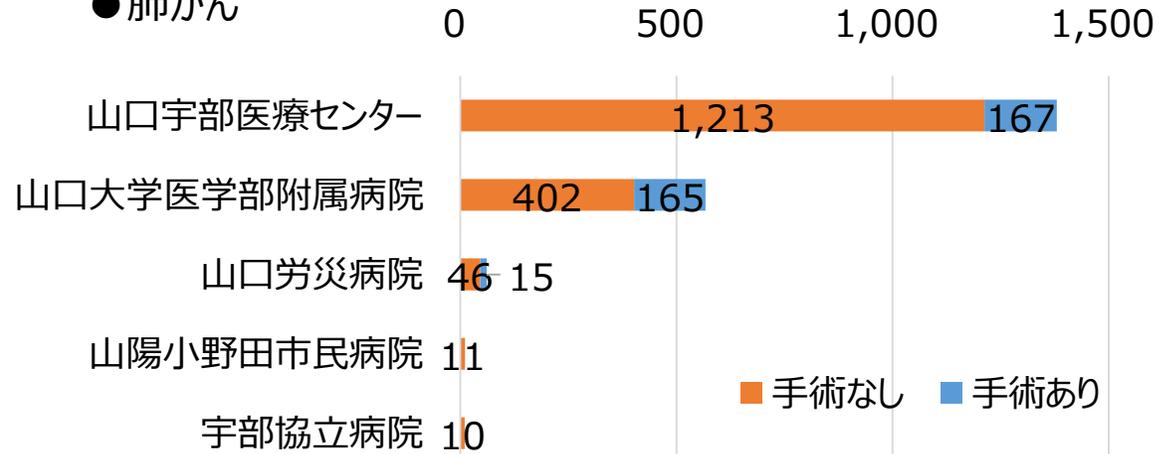
#### ● 胃がん



#### ● 結腸がん



#### ● 肺がん



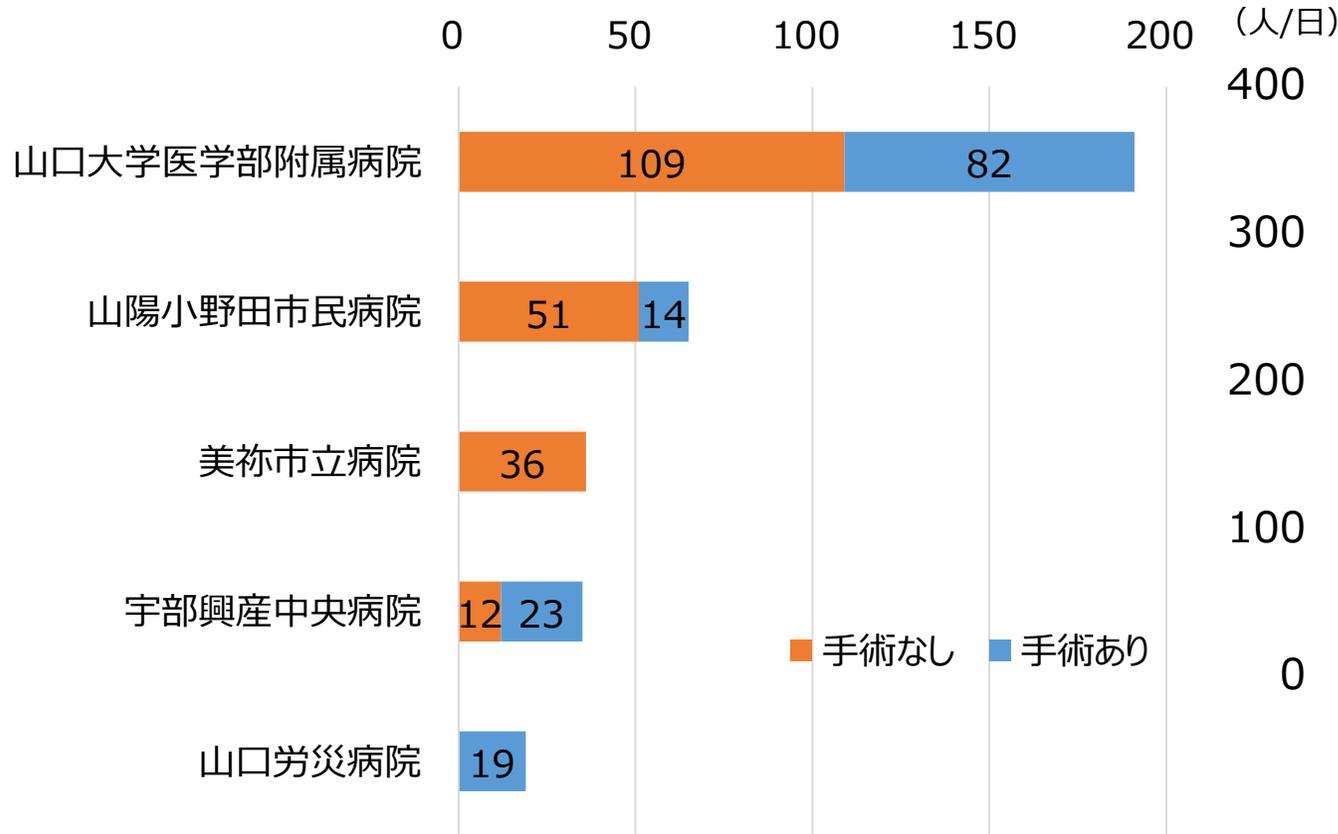
# 【宇部・小野田医療圏】 悪性新生物（がん）

○入院患者数は2025年から減少し、2045年には2020年の87.0%に減少すると推計される。

## 現状

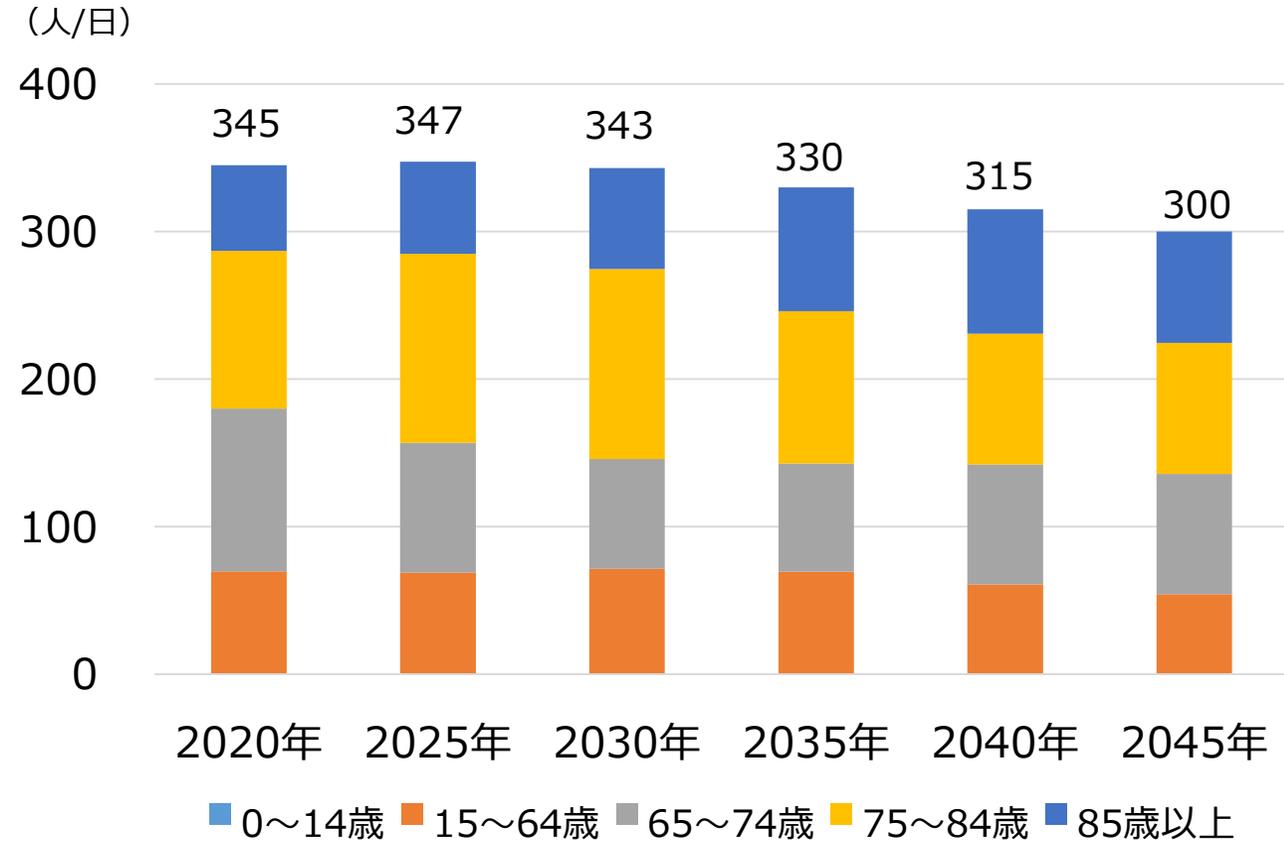
### ■ がんの診療実績（令和元年度DPC調査）

#### ● 直腸がん



## 将来の医療需要（入院患者数推計）

### ■ 悪性新生物（がん）



# 【宇部・小野田医療圏】心疾患

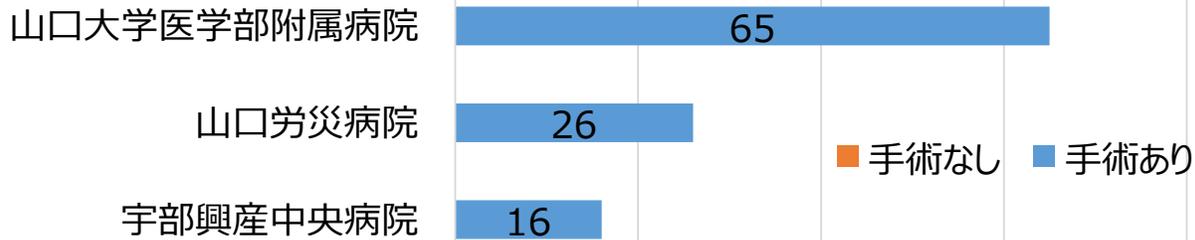
○入院患者数は2035年にピークになり、2045年には2020年の111.9%に増加すると推計される。

## 現状

### ■心疾患の診療実績（令和元年度DPC調査）

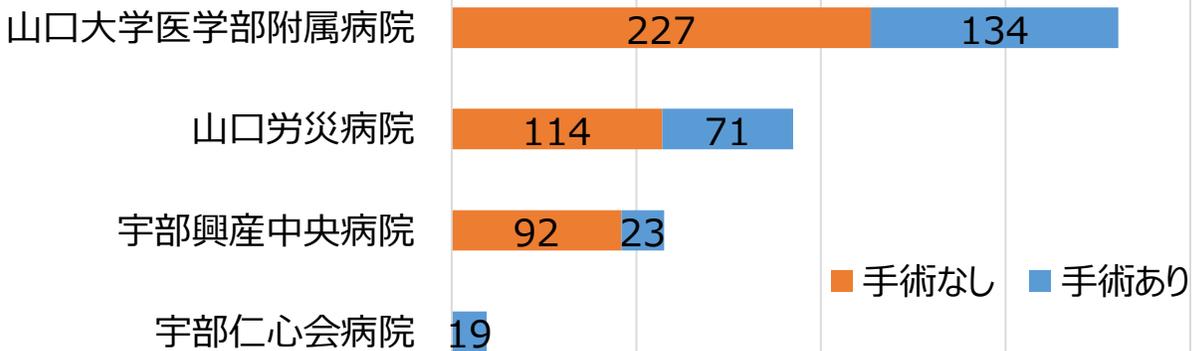
●急性心筋梗塞（続発性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞

0 20 40 60 80



●狭心症、慢性虚血性心疾患

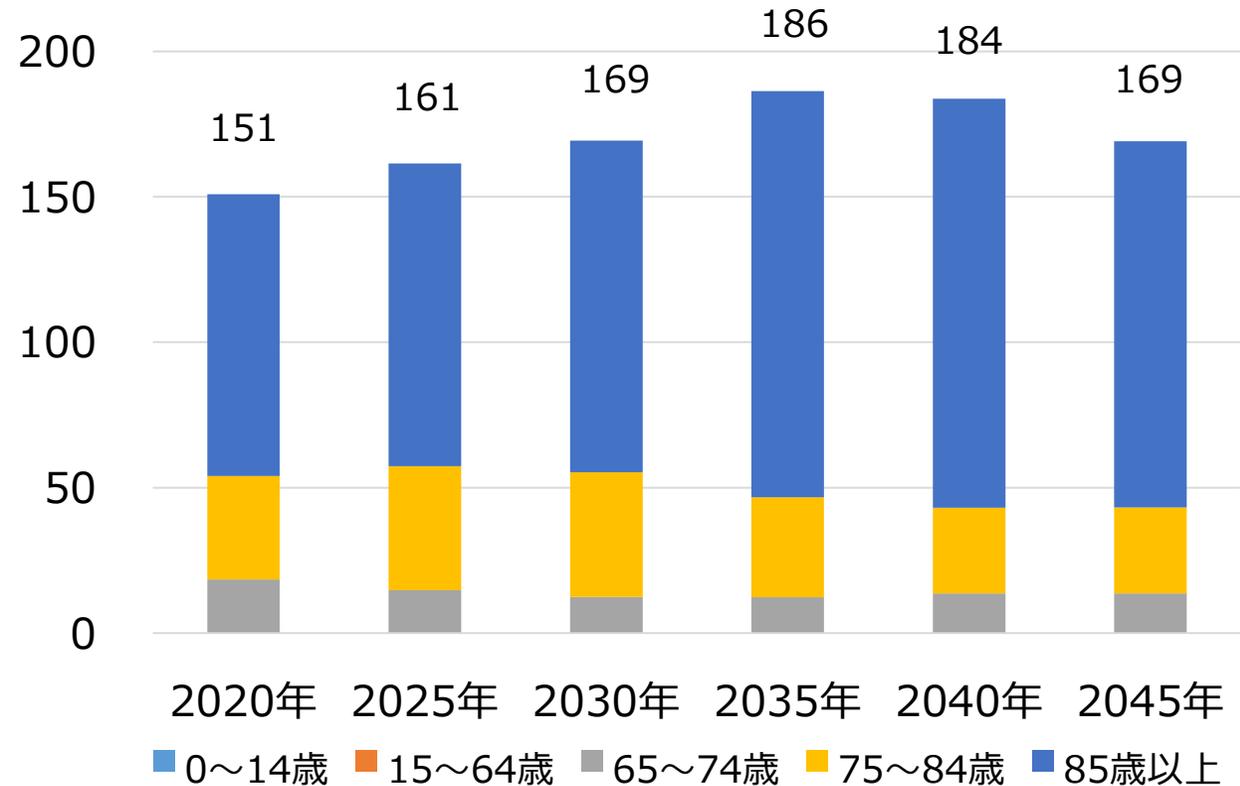
0 100 200 300 400



## 将来の医療需要（入院患者数推計）

### ■心疾患（虚血性心疾患、その他の心疾患）

(人/日)



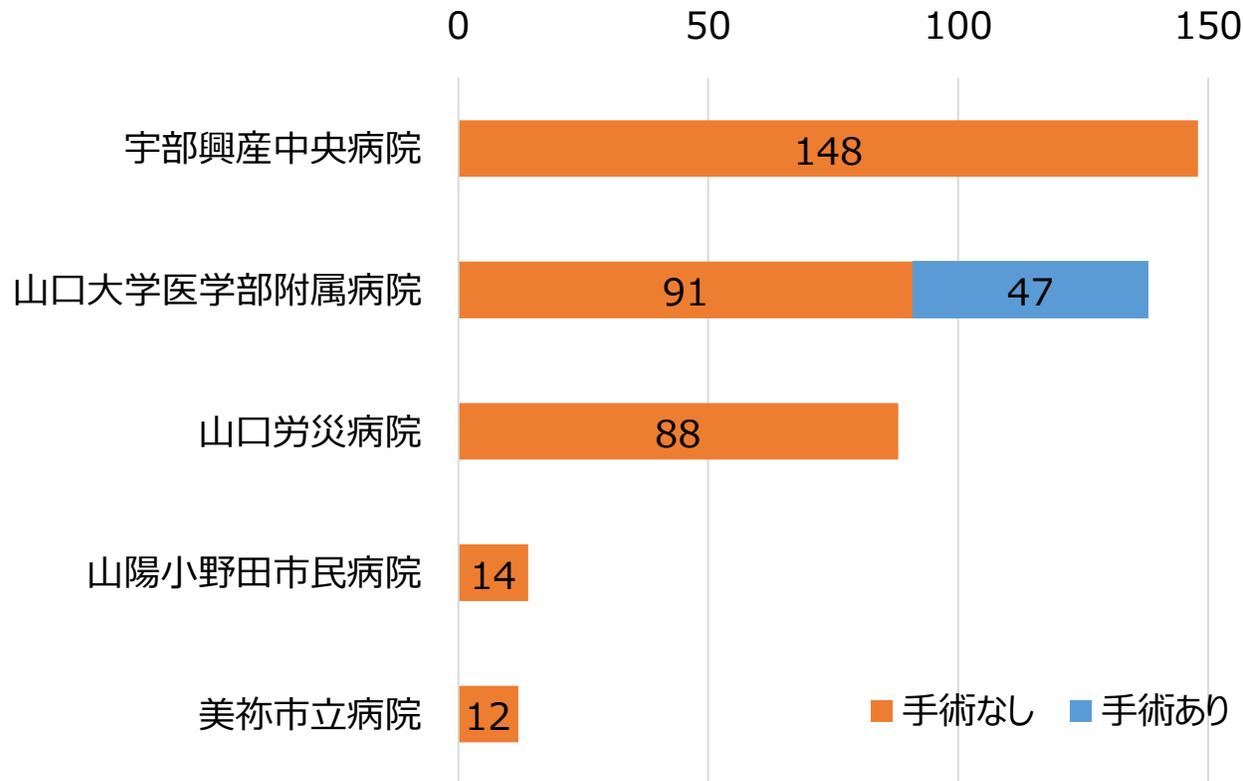
出所：平成29年患者調査（厚生労働省） 閲覧表番号117-2、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

# 【宇部・小野田医療圏】 脳梗塞

○入院患者数は2035年にピークになり、2045年には2020年の107.1%に増加すると推計される。

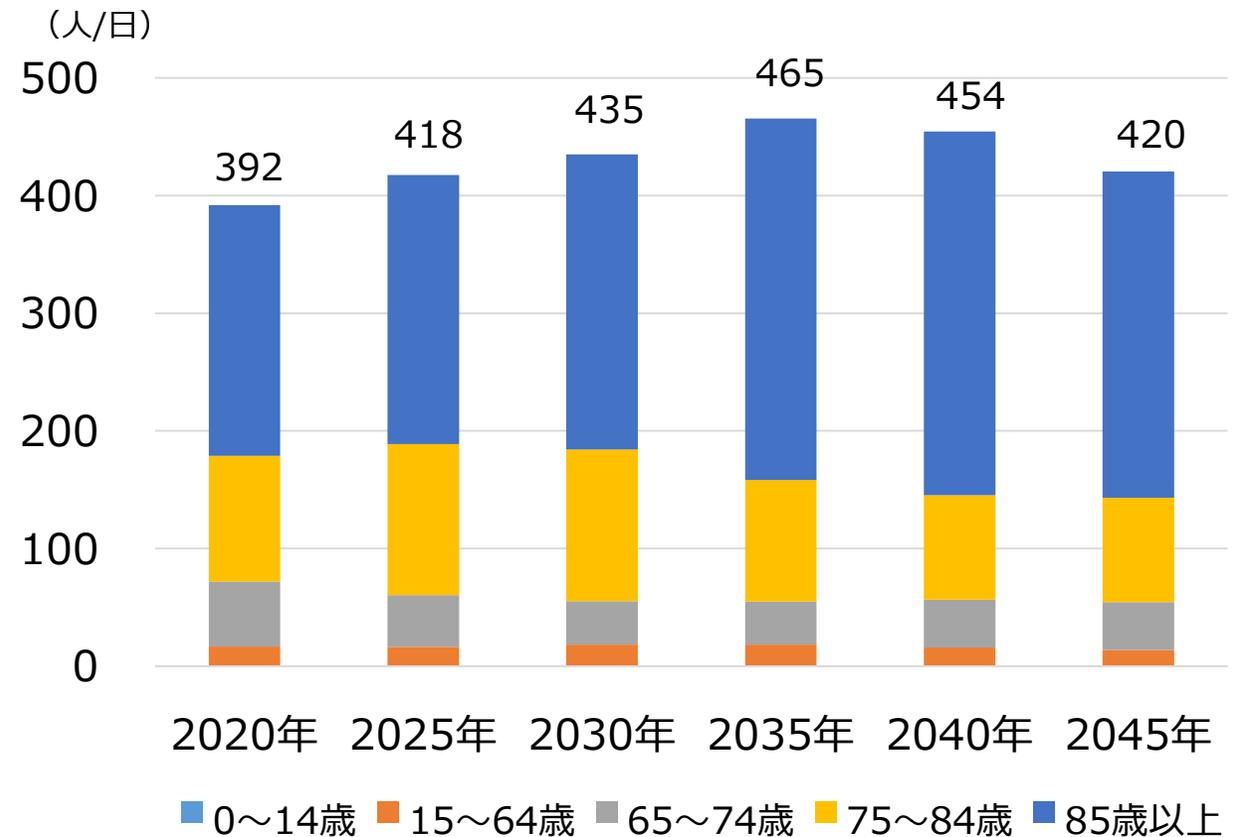
## 現 状

### ■ 脳梗塞の診療実績（令和元年度DPC調査）



## 将来の医療需要（入院患者数推計）

### ■ 脳梗塞



# 【宇部・小野田医療圏】 救急医療

○救急車の受入件数の24.0%が宇部興産中央病院、18.3%が山口大学医学部附属病院、17.4%が山口労災病院であり、地域の救急受入主要機関として機能している。

## 現 状

### ■ 病院群輪番制病院 (R4.5)

〈9病院〉

宇部興産中央病院、宇部記念病院、宇部協立病院、セントヒル病院、尾中病院、山口宇部医療センター、山口労災病院、山陽小野田市民病院、美祢市立病院

### ■ 救急告示病院・診療所 (R4.5)

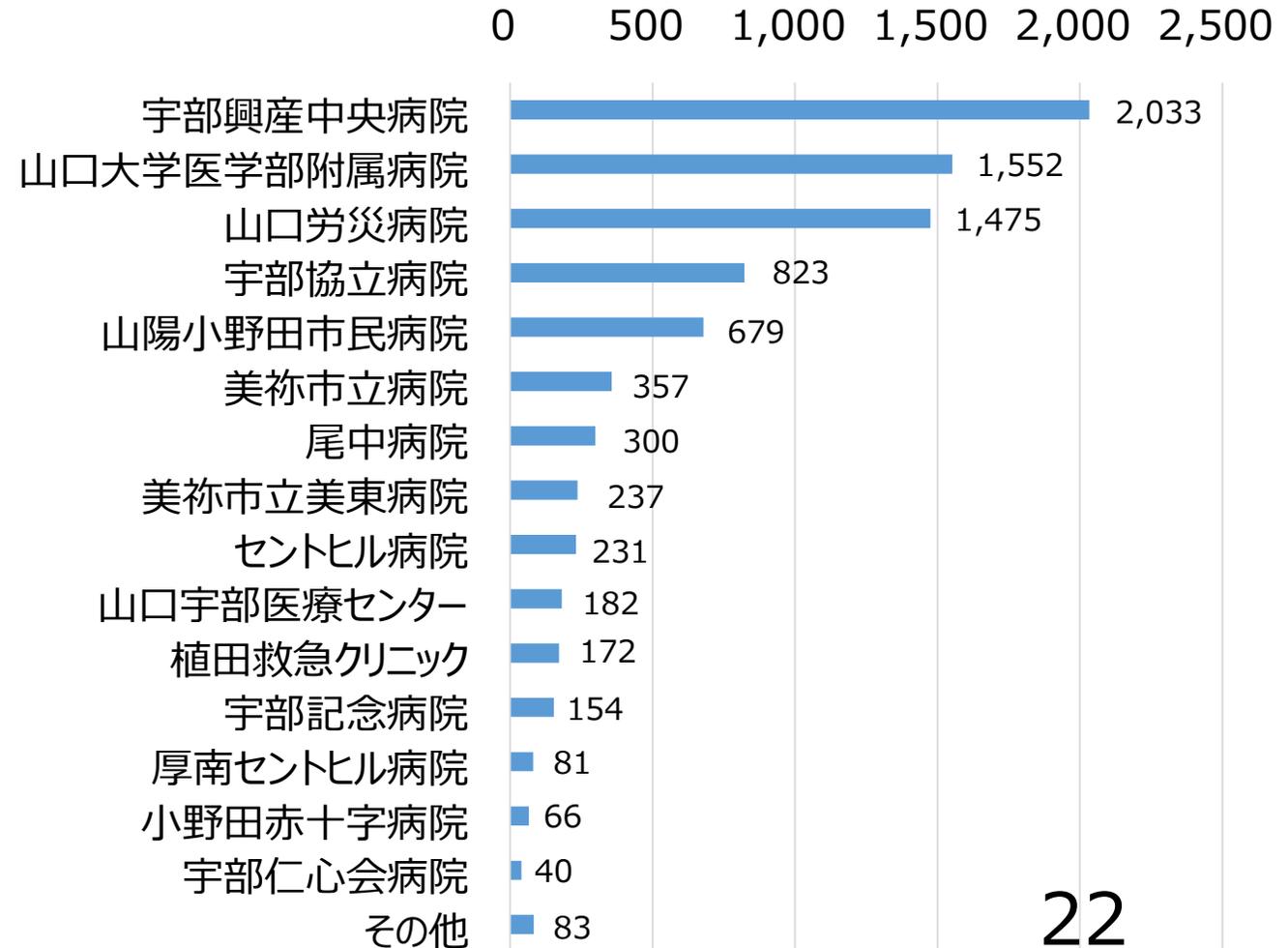
〈13病院・1診療所〉

山口大学医学部附属病院、宇部興産中央病院、宇部記念病院、宇部協立病院、セントヒル病院、尾中病院、山口宇部医療センター、宇部西リハビリテーション病院、厚南セントヒル病院、山口労災病院、小野田赤十字病院、山陽小野田市民病院、美祢市立病院、植田救急クリニック

### ■ 救命救急センター (R4.5)

山口大学医学部附属病院

### ■ 救急車の受入件数 (R2病床機能報告)



# 【宇部・小野田医療圏】 周産期医療

○出生数は減少（H28-R2比較82.1%）しており、出生数の9～11%程度が低出生体重児である。

○入院患者数は2045年には2020年の74.3に減少すると推計される。

## 現 状

### ■ 分娩の状況（R2病床機能報告）

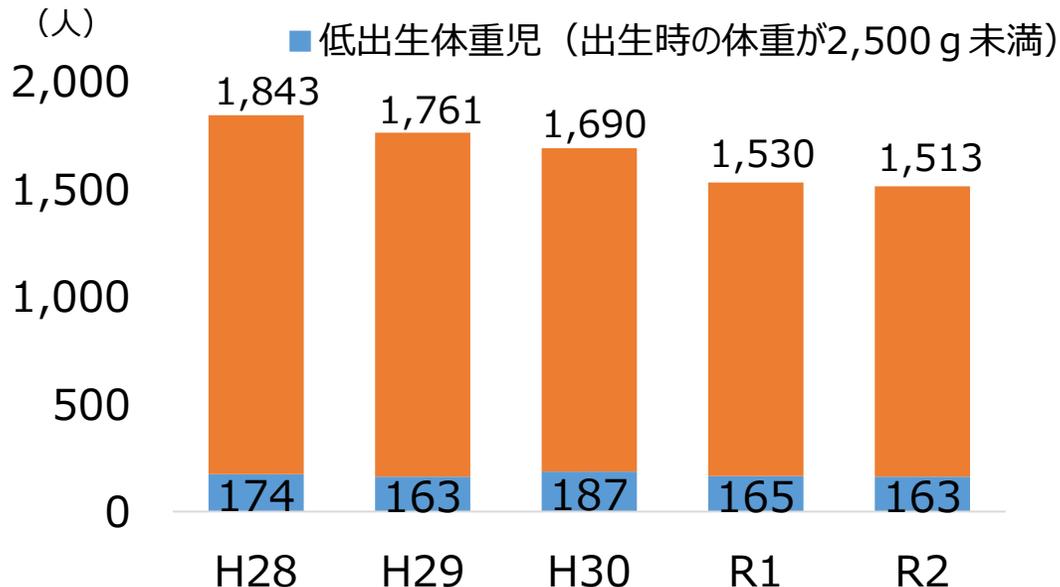
山口大学医学部附属病院：21件、

山陽小野田市民病院：26件、しま産婦人科：41件

※R2.6の件数。正常分娩、帝王切開を含む、死産を除く

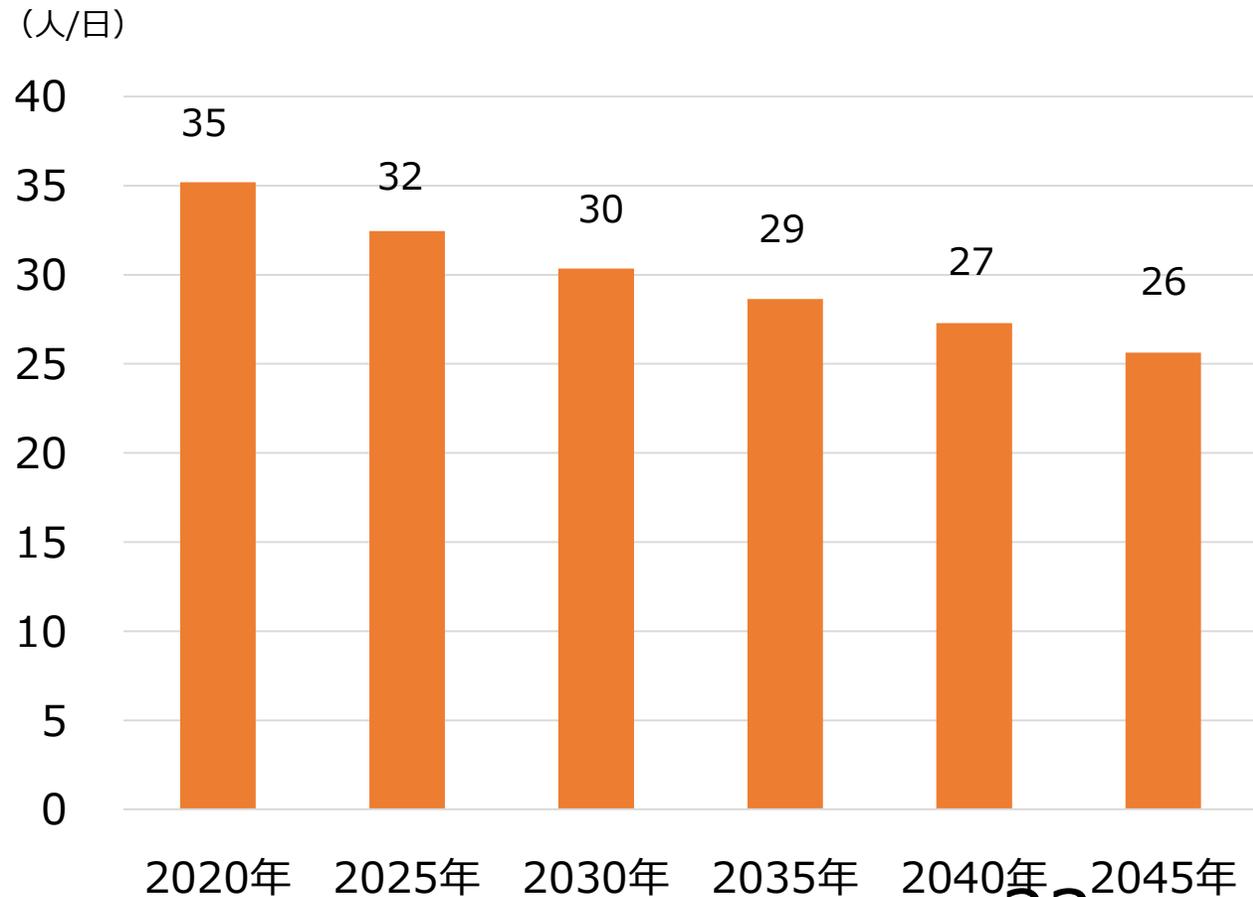
※地域周産期母子医療センター：山口大学医学部附属病院

### ■ 出生数の推移（山口県保健統計年報H28-R2）



## 将来の医療需要（入院患者数推計）

### ■ 妊娠、分娩及び産じょく



# 【全医療圏】小児医療

○小児医療圏ごとに小児医療を中核的に担う医療機関によって、小児の専門医療や24時間体制での小児救急を実施している。

○高度小児専門医療や救命救急医療については、圏域を越えて、対応可能な医療機関で必要な医療を提供している。

## 現状

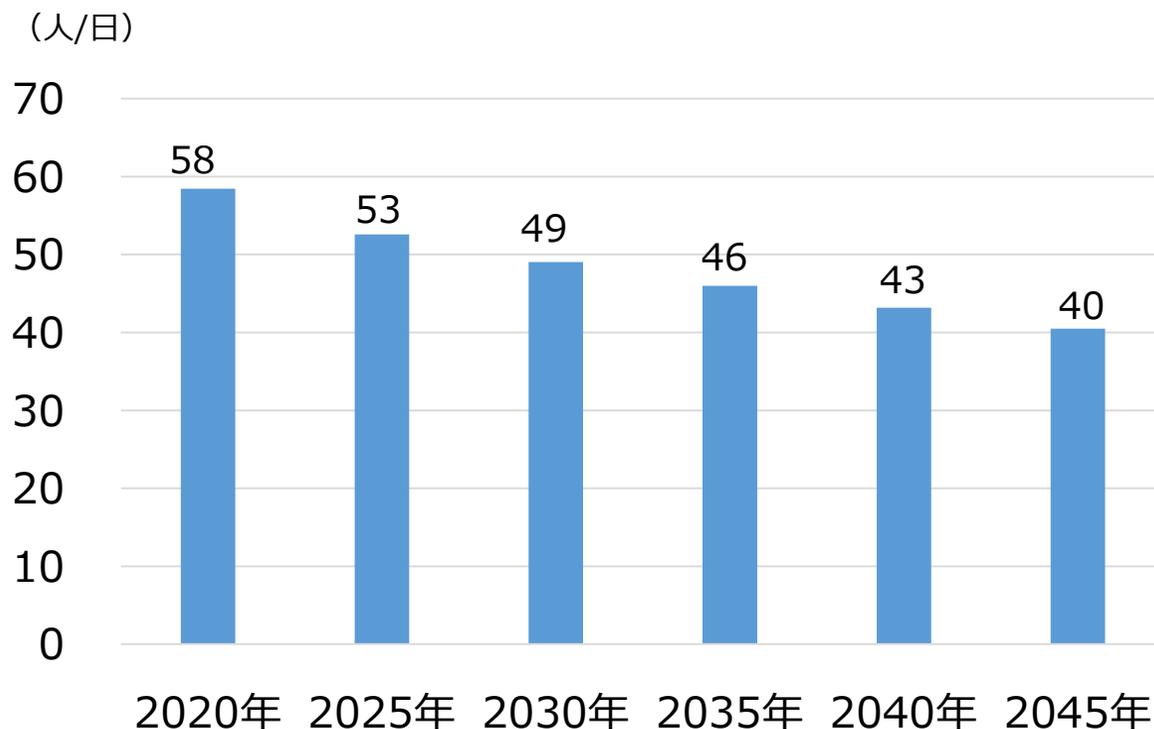
※小児医療圏:岩国、柳井・周南、山口・防府・萩、宇部・小野田、下関・長門

### ■医療機関の状況 (R4.5.1届出時点)

圏域	届出	医療機関
岩国	新生児特定集中治療室管理料 2	岩国医療センター
	小児入院医療管理料 4	
柳井	小児入院医療管理料 5	周東総合病院
周南	新生児特定集中治療室管理料 1	徳山中央病院
	小児入院医療管理料 3	
山口・防府	新生児特定集中治療室管理料 1	山口県立総合医療センター
	新生児特定集中治療室管理料 2	山口赤十字病院
	新生児治療回復室入院医療管理料	山口県立総合医療センター
		山口赤十字病院
	小児入院医療管理料 4	山口県立総合医療センター 山口赤十字病院
小児入院医療管理料 5	小郡第一総合病院	
宇部・小野田	新生児治療回復室入院医療管理料	山口大学医学部附属病院
	小児入院医療管理料 2	
下関	新生児特定集中治療室管理料 2	済生会下関総合病院
	新生児治療回復室入院医療管理料	
	小児入院医療管理料 4	下関市立市民病院
	小児入院医療管理料 5	

## 将来の医療需要 (入院患者数推計)

### ■呼吸器系の疾患 (15歳未満)



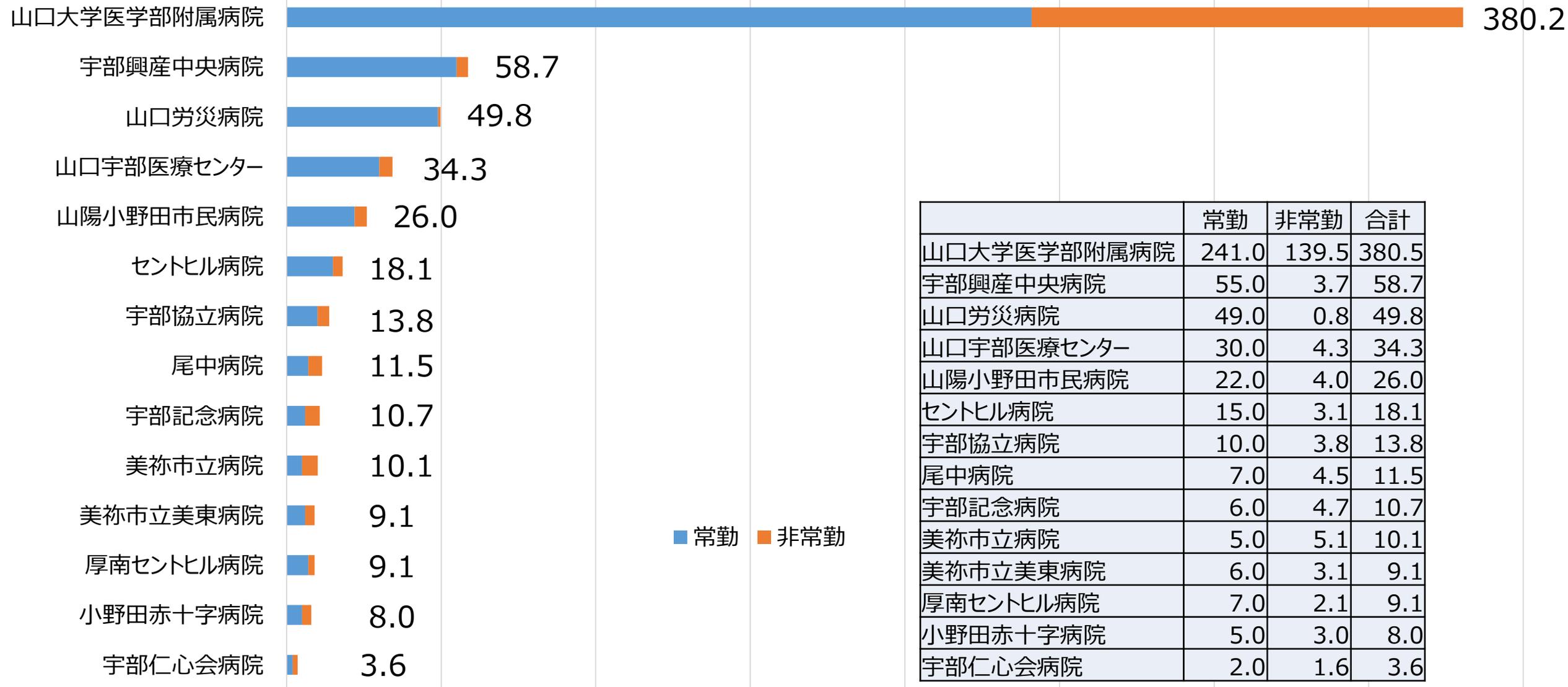
出所：平成29年患者調査（厚生労働省）閲覧表番号127、社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

参考資料

宇部・小野田医療圏

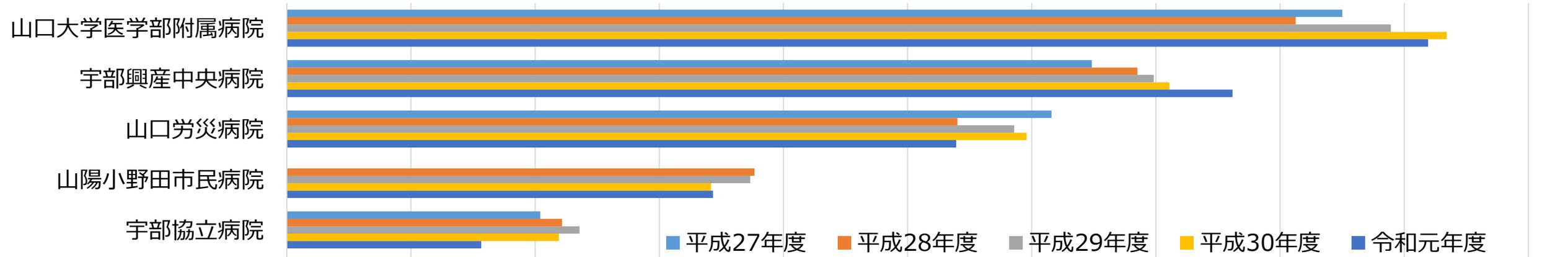
# 【宇部・小野田】常勤換算医師数

0.0 50.0 100.0 150.0 200.0 250.0 300.0 350.0 400.0



# 【宇部・小野田】 救急車による搬送 1か月当たりの数（過去5年間）

0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

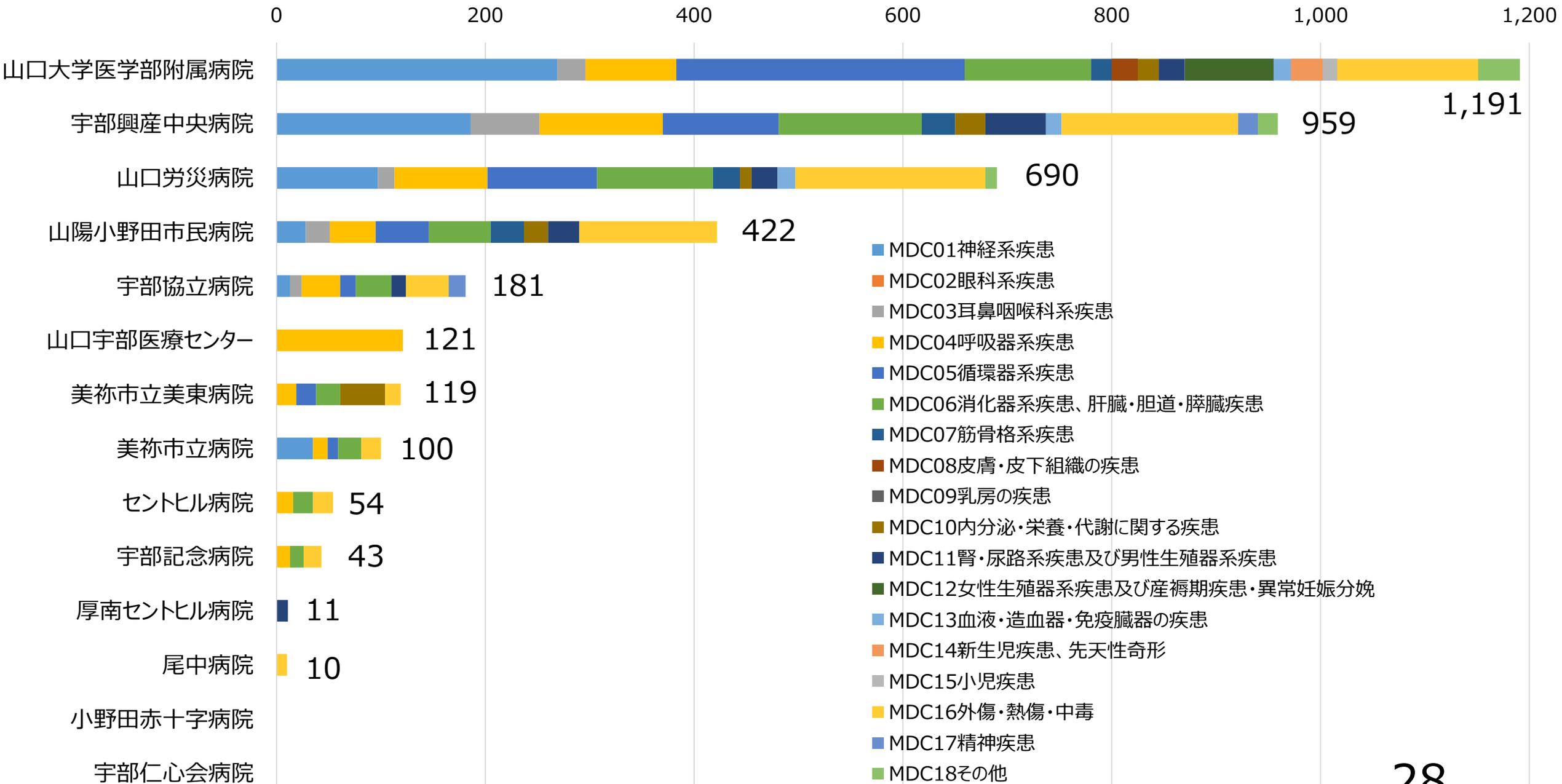


山口大学医学部附属病院  
 宇部興産中央病院  
 山口労災病院  
 山陽小野田市民病院  
 宇部協立病院  
 山口宇部医療センター  
 美祢市立美東病院  
 美祢市立病院  
 セントヒル病院  
 尾中病院  
 宇部記念病院  
 小野田赤十字病院  
 厚南セントヒル病院  
 宇部仁心会病院

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
山口大学医学部附属病院	85.0	81.3	88.9	93.4	91.9
宇部興産中央病院	64.8	68.5	69.8	71.1	76.2
山口労災病院	61.6	54.0	58.6	59.6	53.9
山陽小野田市民病院		37.7	37.3	34.2	34.3
宇部協立病院	20.4	22.2	23.6	21.9	15.7
山口宇部医療センター	9.4	10.3	10.2	12.1	10.8
美祢市立美東病院	10.4	8.2	9.0	8.8	10.3
美祢市立病院	8.8	8.7	10.3	7.8	9.5
セントヒル病院	5.6	7.7	6.2	7.7	7.6
尾中病院	8.3	6.9	7.3	4.8	3.1
宇部記念病院				3.3	5.9
小野田赤十字病院	2.1	1.8	1.6	1.9	1.5
厚南セントヒル病院		1.2	0.8	2.5	2.8
宇部仁心会病院					2.0

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

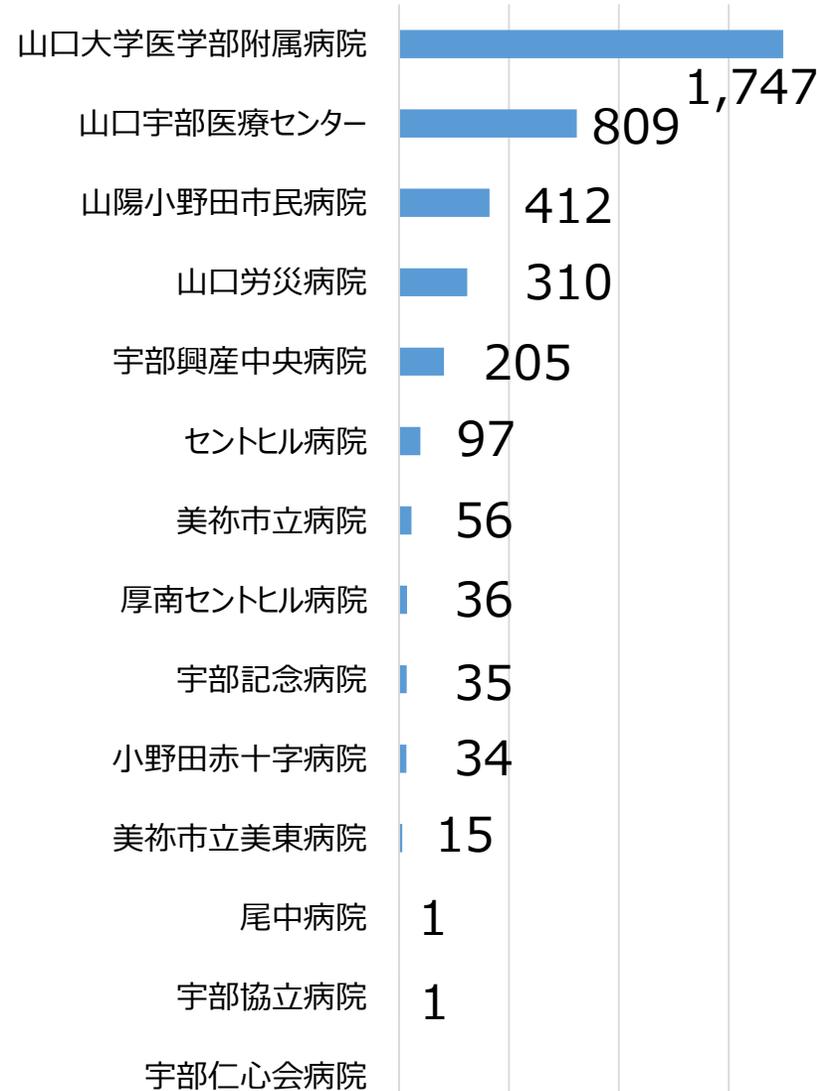
# 【宇部・小野田】救急車による搬送 MDC別



# 【宇部・小野田】 化学療法／放射線療法／全身麻酔件数

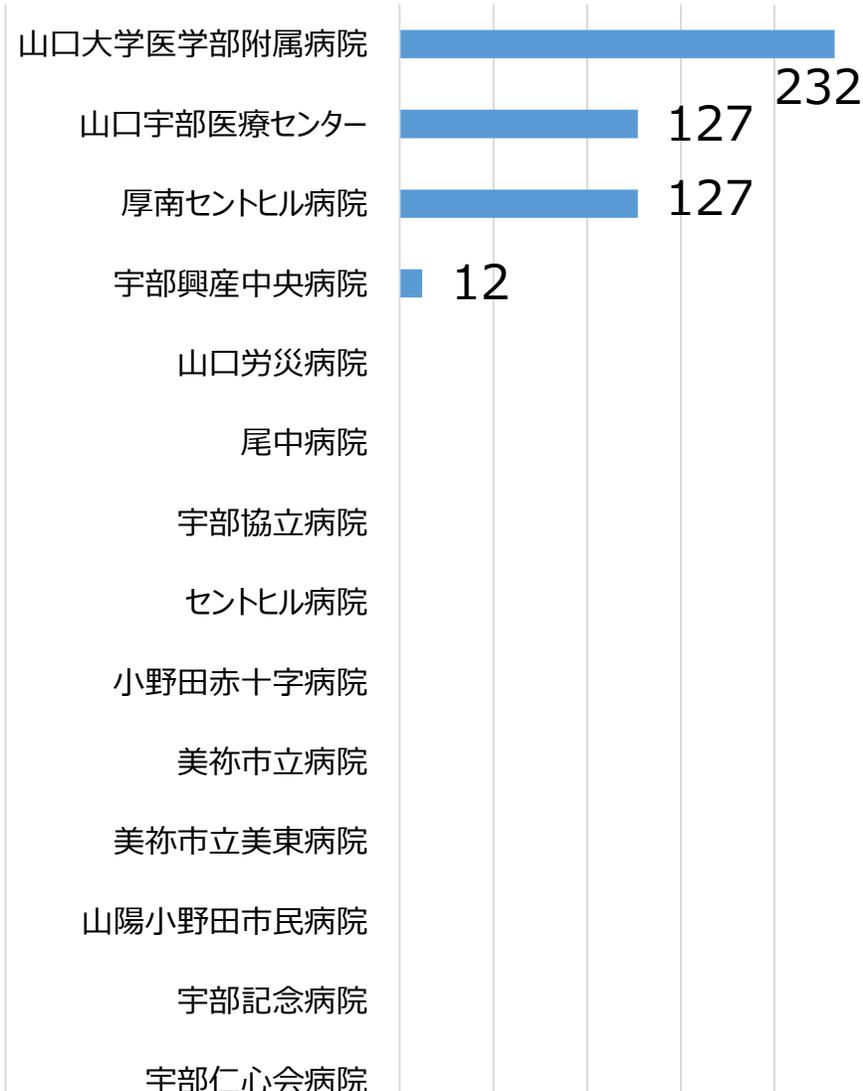
## 化学療法

0 500 1,000 1,500 2,000



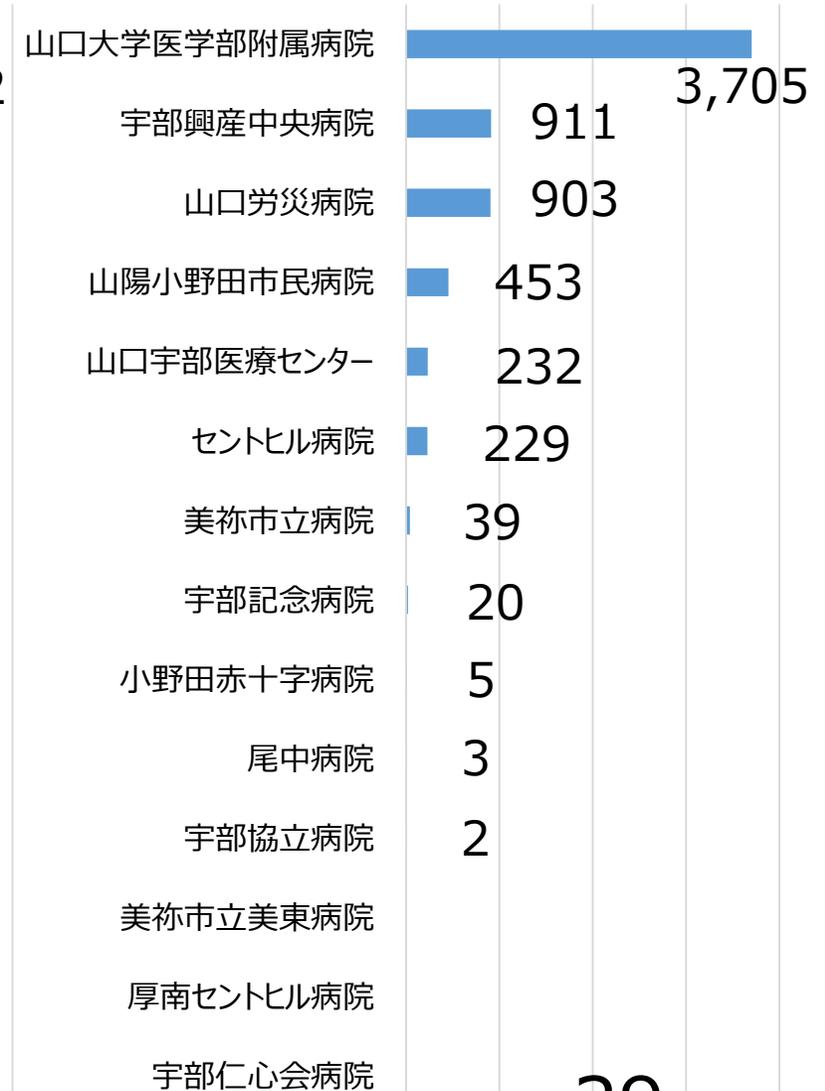
## 放射線療法

0 50 100 150 200 250



## 全身麻酔

0 1,000 2,000 3,000 4,000



# 【宇部・小野田】 D P C 患者数 M D C 別

0 2,000 4,000 6,000 8,000 10,000 12,000 14,000

山口大学医学部附属病院



13,341

宇部興産中央病院



4,164

山口労災病院



3,435

山陽小野田市民病院



3,232

山口宇部医療センター



2,224

セントヒル病院



1,096

厚南セントヒル病院



729

美祢市立美東病院



616

宇部協立病院



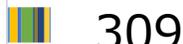
583

美祢市立病院



420

宇部記念病院



309

小野田赤十字病院



166

尾中病院



93

宇部仁心会病院



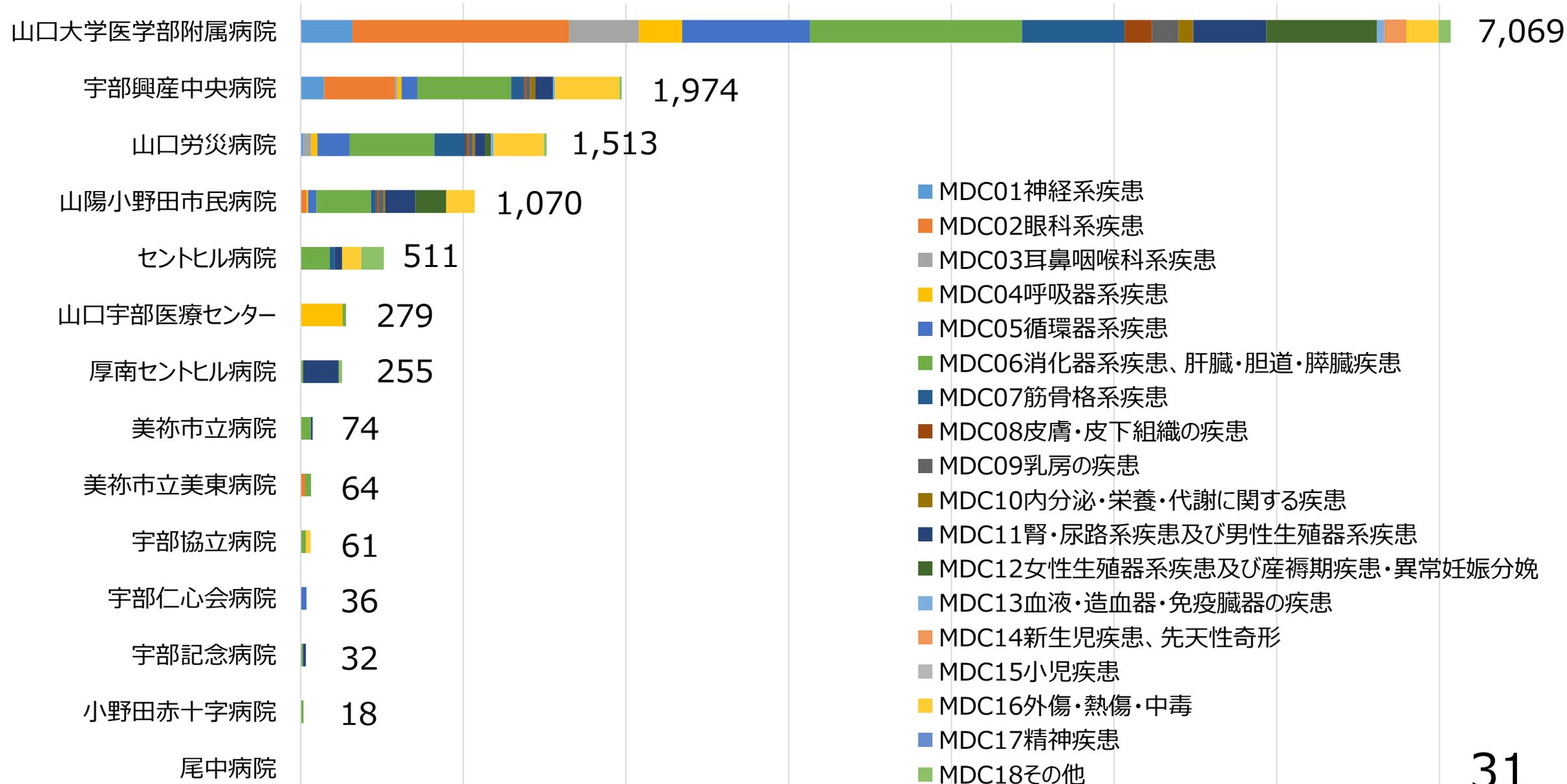
81

- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

30

# 【宇部・小野田】 D P C患者数 手術あり M D C別

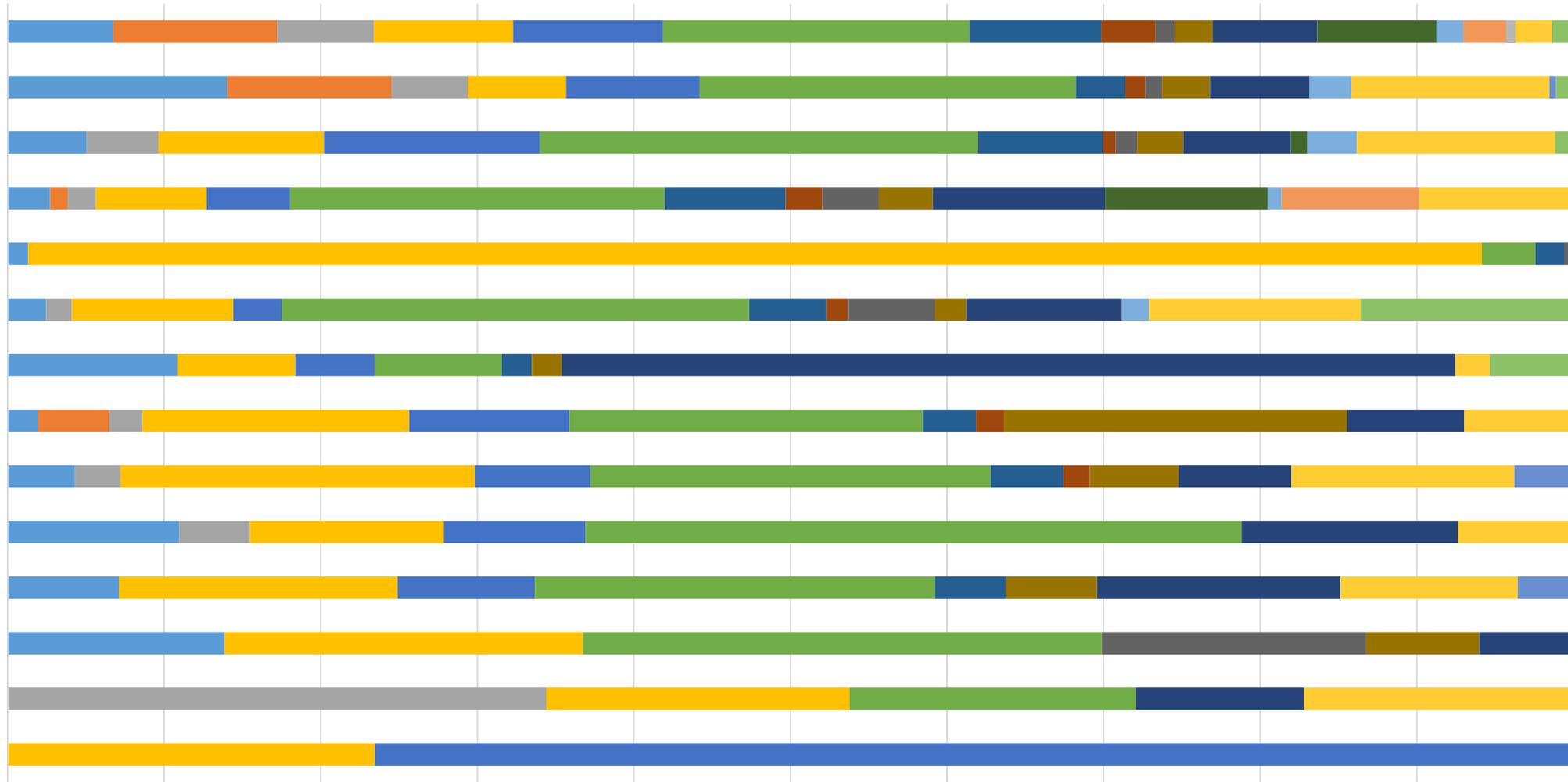
0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000 8,000



# 【宇部・小野田】 D P C患者 M D C別構成比

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

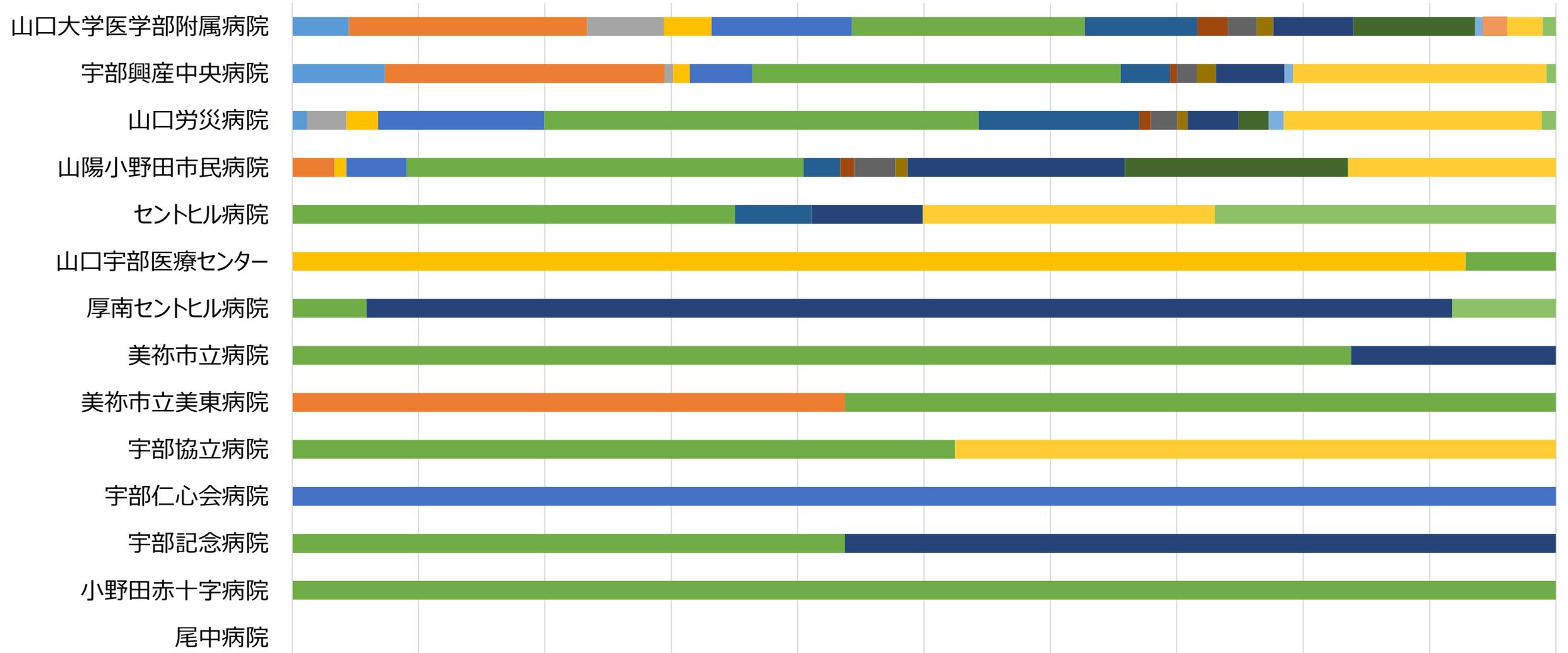
山口大学医学部附属病院  
 宇部興産中央病院  
 山口労災病院  
 山陽小野田市民病院  
 山口宇部医療センター  
 セントヒル病院  
 厚南セントヒル病院  
 美祢市立美東病院  
 宇部協立病院  
 美祢市立病院  
 宇部記念病院  
 小野田赤十字病院  
 尾中病院  
 宇部仁心会病院



- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患
- MDC16外傷・熱傷・中毒
- MDC17精神疾患
- MDC18その他

# 【宇部・小野田】 D P C 患者数 手術あり M D C 別構成比

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

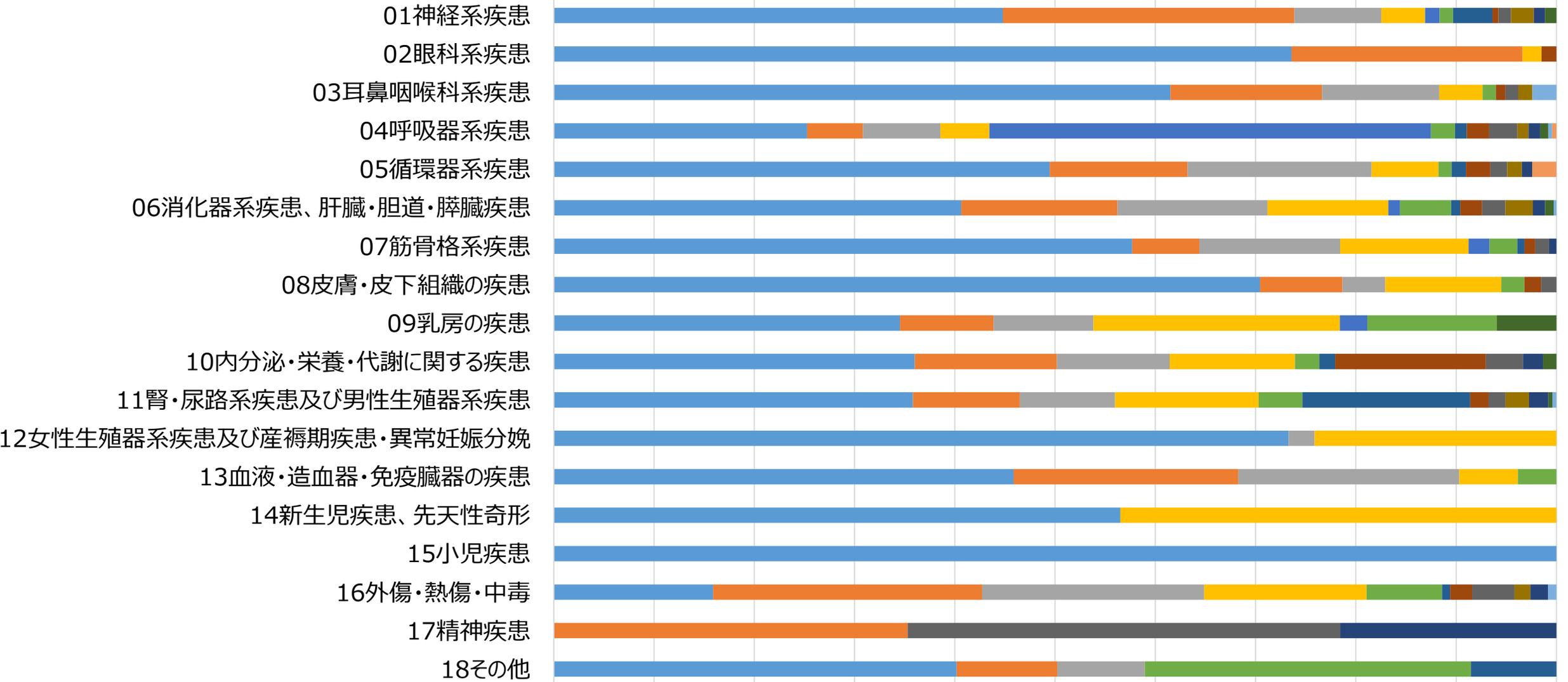


- MDC01神経系疾患
- MDC02眼科系疾患
- MDC03耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04呼吸器系疾患
- MDC05循環器系疾患
- MDC06消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07筋骨格系疾患
- MDC08皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09乳房の疾患
- MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12女性生殖器系疾患及び産褥期疾患、異常妊娠分娩
- MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14新生児疾患、先天性奇形
- MDC15小児疾患

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告

# 【宇部・小野田】 D P C 患者 病院別構成比

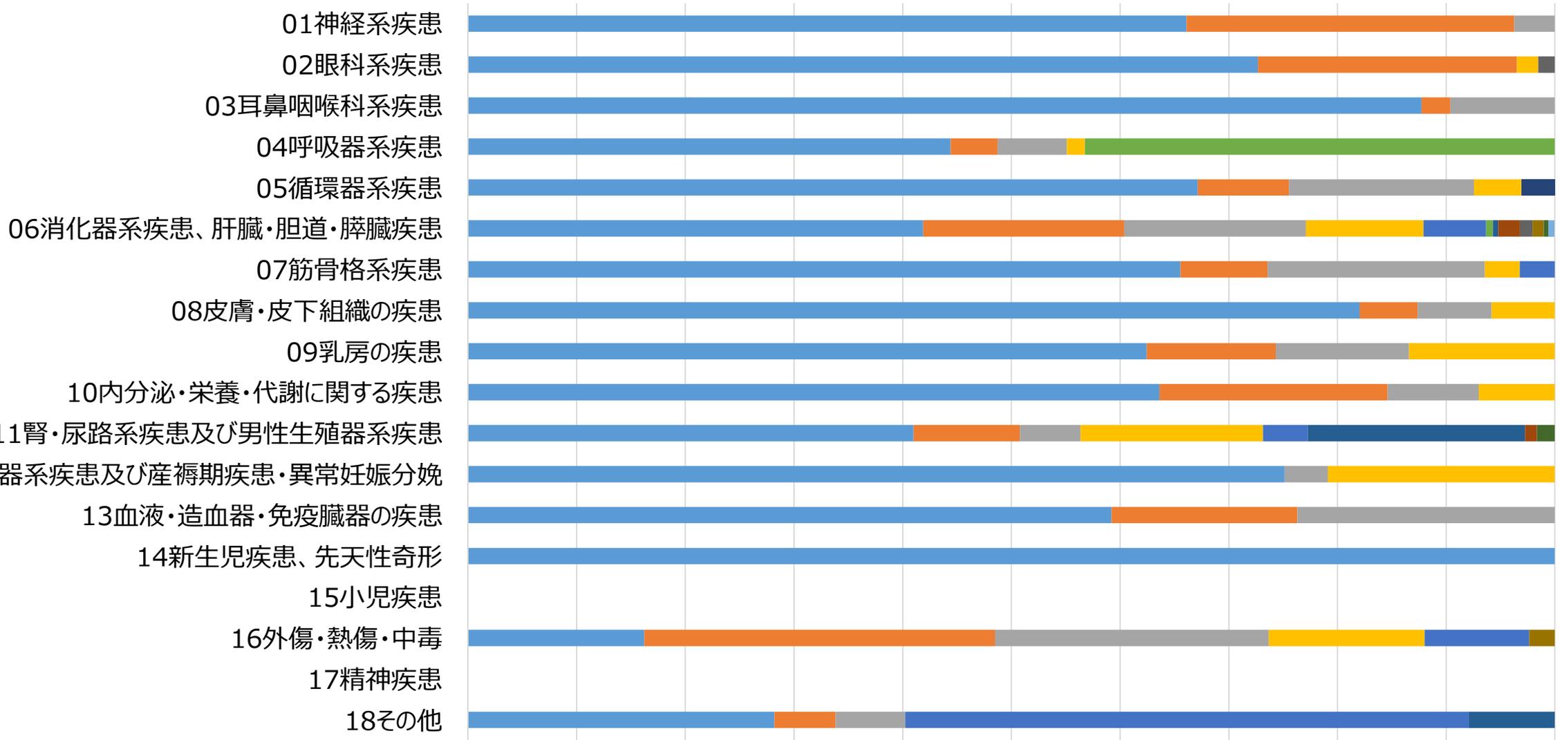
MDC 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 山口大学医学部附属病院
 ■ 宇部興産中央病院
 ■ 山口労災病院
 ■ 山陽小野田市民病院
 ■ 山口宇部医療センター
 ■ セントヒル病院
 ■ 厚南セントヒル病院
 ■ 美祢市立美東病院
 ■ 宇部協立病院
 ■ 美祢市立病院
 ■ 宇部記念病院
 ■ 小野田赤十字病院
 ■ 尾中病院
 ■ 宇部仁心会病院

# 【宇部・小野田】 D P C患者 手術あり 病院別構成比

MDC 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 山口大学医学部附属病院     
 ■ 宇部興産中央病院     
 ■ 山口労災病院     
 ■ 山陽小野田市民病院     
 ■ セントヒル病院  
■ 山口宇部医療センター     
 ■ 厚南セントヒル病院     
 ■ 美祢市立病院     
 ■ 美祢市立美東病院     
 ■ 宇部協立病院  
■ 宇部仁心会病院     
 ■ 宇部記念病院     
 ■ 小野田赤十字病院     
 ■ 尾中病院

出所：令和元年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」の結果報告